

日本原子力学会
中部支部

創立四十周年誌

平成21年5月

目 次

[巻頭言] 日本原子力学会中部支部創立40周年を迎えて
支部長 浅野 晴彦

写 真 歴代支部長	1
最近10年(30年から40年)の歩み(記 録)	3
事 業	4
1. 総会・幹事会・常任幹事会	5
2. 見学会	16
3. 講演会	20
4. 研究発表会	31
5. セミナー・講習会	33
6. 研究委員会	40
7. 原子力オープンスクール	62
8. その他	65
役 員	67
経 費	77
創立40周年記念式典プログラム	78

「巻頭言」

日本原子力学会中部支部 創立40周年を迎えて

日本原子力学会中部支部

支部長 浅野 晴彦

日本原子力学会中部支部は昭和44年3月に設立され、歴代の支部長、役員ならびに事務局の方々のご努力によって爾来40年中部支部の活動が続けられて来ました。この小冊子は創立40周年を記念して、30周年以降最近10年間の中部支部の歩みを簡単にまとめたものです。

この十年間を振り返りますと、国内におきましては、JCO事故や東京電力の自主点検記録の不正問題に端を発した原子力安全規制の抜本的な見直し、発電設備の総点検、新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所全号機停止など様々な問題に直面し対策がとられる一方、高速増殖炉「もんじゅ」の運転再開や、六ヶ所村再処理施設の竣工を間近に控え、プルサーマルも各社において具体的な開始に向け進展がみられる等、着実な前進がみられます。

また、近年、地球環境保護とエネルギーセキュリティーにおける原子力エネルギーの利点が世界的に認識され、原子力カルネッサンスと呼ばれる時代が到来しています。ヨーロッパにおいては、昨年の英国に続き、いままで脱原子力政策をとってきたスウェーデン、イタリアが相次いで原子力推進政策に転じました。またアジア・アフリカなど多くの発展途上国で原子力発電新規導入の動きがあり、発電利用だけでも全世界で100機以上のプラントが建設・計画されています。これに伴い、原子力関連メーカーの再編成が進むとともに、一時減少の一途をたどっていた大学での原子力を冠する大学院の再編もみられるようになってきました。

中部支部におきましては、この間、講演会、研究発表会、オープンスクール、シンポジウム等を定期的に開催するとともに、静岡大学での秋の大会、名古屋大学での春の年會を開催するなど、地元を根ざした学会活動・普及活動を続けてまいりました。昨年度からは、中部支部奨励賞を設け、若手研究者の励みとも成っています。

今後は、各行事の一層の充実、広報活動の充実を図るとともに、まずは、2011年春の年會の開催に向け、鋭意取り組んでゆく所存です。

この10年間の当支部に寄せられた各位のご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後の会員の皆さまからの一層のご援助をお願い申し上げます。

歴代支部長

(括弧内は支部長当時の所属)

平成11、12年度



第13代 青木輝行 支部長
(中部電力(株))

平成13、14、15年度



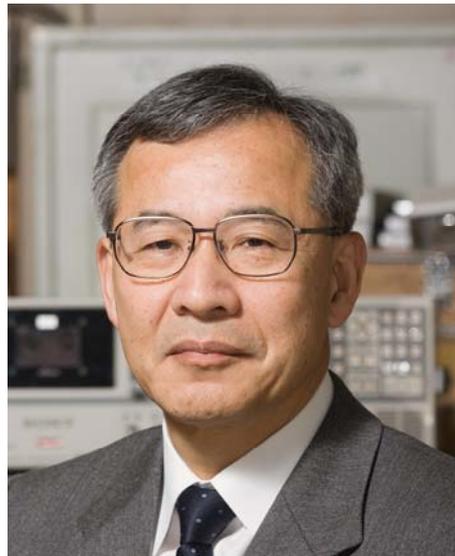
第14代 山本一良 支部長
(名古屋大学大学院)

平成16、17年度



第15代 伊藤隆彦 支部長
(中部電力(株))

平成18、19年度



第16代 山根義宏 支部長
(名古屋大学大学院)

平成20年度



第17代 浅野晴彦 支部長
(中部電力(株))

最近 10 年（30 年から 40 年）の歩み
（記録の部）

事 業

中部支部は、平成21年3月末現在で、正会員357名、学生会員69名、賛助会員17団体を擁し、社会に開かれた学会を目指し、中部地区の原子力研究の活性化、原子力の社会への普及等に務めてきた。

ここでは、最近10年間の歩みを記録として、1. 総会、幹事会、常任幹事会、2. 見学会、3. 講演会、4. 研究発表会、5. セミナー・講習会、6. 研究専門委員会、7. 原子力オープンスクール、8. その他の事業毎に開催日時、内容をまとめる。

1. 総会・幹事会・常任理事会

平成11年度

・総会（第31回）

期 日 平成11年5月13日（木）13：00～13：45

場 所 愛知厚生年金会館「芙蓉の間」

参加者 47名

議 案 (1) 平成10年度事業報告

(2) 平成10年度収支決算報告

(3) 平成10年度会計監査報告

(4) 平成11年度役員選任

(5) 平成11年度事業計画

(6) 平成11年度収支予算

(7) 新顧問推戴：青木新支部長

・幹事会

第62回幹事会

日 時 平成11年5月13日（木）10：30～12：00

場 所 愛知厚生年金会館「芙蓉の間」

議 題 (1) 総会提出議案について

(2) 平成11年度常任幹事選出について

(3) 平成11年度事業計画の担当について

(4) 30周年記念事業について

(5) その他

第63回幹事会（第91回常任幹事会と合同で実施）

日 時 平成12年1月28日（金）13：30～15：40

場 所 中部電力（株）4階4-1会議室

議 題 (1) 平成12年度総会について

(2) 平成12年度役員改選について

(3) その他

・常任幹事会

第89回常任幹事会

日 時 平成11年7月21日（水）11：00～13：00

場 所 メルパルク（郵便貯金会館）3階「菊の間」

議 題 (1) 役員紹介

- (2) 当面の実施計画について
- (3) その他

第90回常任幹事会

- 日 時 平成11年10月22日(金) 15:00~16:30
- 場 所 中部電力(株) 4階4-1会議室
- 議 題 (1) 定款変更に伴う支部再編成について
- (2) 「原子力オープンスクール」実施結果について
 - (3) シンポジウム「原子力と先端技術」の実施結果について
 - (4) 第7回原子力エネルギーシステムシンポジウムについて
 - (5) 講演会の実施結果および実施計画について
 - (6) 日本原子力学会第31回研究発表会の実施内容について
 - (7) その他

第91回常任幹事会(第63回幹事会と合同で実施)

- 日 時 平成12年1月28日(金) 13:30~15:40
- 場 所 中部電力(株) 4階4-1会議室
- 議 題 (1) 平成12年度総会について
- (2) 平成12年度役員改選について
 - (3) その他

第92回常任幹事会

- 日 時 平成12年3月31日(金) 16:00~17:00
- 場 所 中部電力(株) 4階4-2会議室
- 議 題 (1) 平成12年度総会について
- (2) 平成11年度事業報告および収支決算報告ならびに
平成11年度役員(案)、事業計画(案)および収支予算(案)
 - (3) 平成12年度役員改選投票結果について
 - (4) その他

平成12年度

・総会(第32回)

- 期 日 平成12年5月19日(金) 14:30~15:20
- 場 所 メルパルク名古屋(郵便貯金会館)5階「雪」「月」の間
- 参加者 28名
- 議 案 (1) 平成11年度事業報告

- (2) 平成 11 年度収支決算報告
- (3) 平成 11 年度会計監査報告
- (4) 平成 12 年度役員選任
- (5) 平成 12 年度事業計画
- (6) 平成 12 年度収支予算

・ 幹事会

第 64 回幹事会

- 日 時 平成 12 年 5 月 19 日 (金) 13 : 30 ~ 14 : 20
- 場 所 メルパルク名古屋 (郵便貯金会館) 5 階「雪」の間
- 議 題 (1) 総会提出議案について
- (2) 平成 12 年度常任幹事選出について
 - (3) 平成 12 年度事業計画の担当について
 - (4) その他

第 65 回幹事会 (第 95 回常任幹事会と合同で実施)

- 日 時 平成 13 年 1 月 29 日 (月) 15 : 30 ~ 17 : 00
- 場 所 中部電力 (株) 原子力管理部第一会議室
- 議 題 (1) 平成 12 年度総会について
- (2) 平成 12 年度役員改選について
 - (3) その他

・ 常任幹事会

第 93 回常任幹事会

- 日 時 平成 12 年 7 月 27 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 00
- 場 所 中部電力 (株) 原子力管理部第一会議室
- 議 題 (1) 中部支部役員について
- (2) オープンスクールについて
 - (3) 評議員推薦について
 - (4) 会員の状況について
 - (5) その他

第 94 回常任幹事会

- 日 時 平成 12 年 11 月 21 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00
- 場 所 中部電力 (株) 原子力管理部第一会議室
- 議 題 (1) 「原子力オープンスクール」実施結果について

- (2) シンポジウム「先端技術と原子力」実施結果について
- (3) シンポジウム「原子力とエネルギーシステム」実施結果について
- (4) 講演会、見学会等の実施結果及び予定について
- (5) 日本原子力学会第 32 回研究発表会の実施予定について
- (6) 平成 13 年度の総会並びに役員改選について
- (7) その他

第 95 回常任幹事会（第 65 回幹事会と合同で実施）

- 日 時 平成 13 年 1 月 29 日（月） 15：30～17：00
場 所 中部電力（株）原子力管理部第一会議室
議 題 (1) 平成 12 年度総会について
(2) 平成 12 年度役員改選について
(3) その他

第 96 回常任幹事会

- 日 時 平成 13 年 4 月 20 日（金） 13：30～16：00
場 所 中部電力（株）原子力管理部第二会議室
議 題 (1) 平成 13 年度総会について
(2) 平成 12 年度事業報告および収支決算報告
(3) 平成 13 年度役員改選投票結果について
(4) 平成 13 年度役員（案）、事業計画（案）および収支予算（案）

平成 13 年度

・総 会（第 33 回）

- 期 日 平成 13 年 5 月 17 日（木） 15：10～16：00
場 所 東桜会館
参加者 23 名
議 案 (1) 平成 12 年度事業報告
(2) 平成 12 年度収支決算報告
(3) 平成 12 年度会計監査報告
(4) 平成 13 年度役員選任
(5) 平成 13 年慶事業計画
(6) 平成 13 年度収支予算

・幹事会

第 66 回幹事会

日 時 平成 13 年 5 月 17 日 (木) 14 : 00 ~ 14 : 50

場 所 東桜会館

- 議 題 (1) 総会提出議案について
(2) 平成 13 年度常任幹事選出について
(3) 平成 13 年度事業計画の担当について

第 67 回幹事会

日 時 平成 14 年 1 月 25 日 (金) 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 中部電力 (株) 2 階 2-2 会議室

- 議 題 (1) 支部規約について
(2) 平成 14 年度総会について (計画、13 年度実績など)
(3) 平成 13 年度役員改選について
(4) その他

・ 常任幹事会

第 97 回常任幹事会

日 時 平成 13 年 7 月 16 日 (月) 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 中部電力 (株) 原子力管理部第一会議室

- 議 題 (1) 中部支部幹事について
(2) 平成 13 年慶事業計画と進捗状況について
(3) オープンスクールについて
(4) その他

第 98 回常任幹事会

日 時 平成 13 年 10 月 30 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00

場 所 中部電力 (株) 4-1 会議室

- 議 題 (1) 支部規約について
(2) 平成 13 年度事業計画と実績について
(3) 研究発表会について
(4) その他

第 99 回常任幹事会 (第 67 回幹事会と合同で実施)

日 時 平成 14 年 1 月 25 日 (金) 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 中部電力 (株) 2 階 2-2 会議室

- 議 題 (1) 支部規約について
(2) 平成 14 年度総会について (計画、13 年度実績など)

(3) 平成13年度役員改選について

(4) その他

第100回常任幹事会

日 時 平成14年4月26日(金) 10:00~12:00

場 所 中都電力(株)4階4-2会議室

議 題 (1) 支部規約について

(2) 平成14年度総会について

(3) 平成13年度事業報告および収支決算報告書

(4) 平成14年度役員改選投票結果について

(5) 平成14年度役員(案)、事業計画(案)および収支予算(案)

平成14年度

・総会(第34回)

期 日 平成14年5月17日(金) 15:10~16:00

場 所 東桜会館第2会議室

出席者 23名

議 案 (1) 支部規約の改正について

(2) 平成13年度事業報告

(3) 平成13年度収支決算報告

(4) 平成13年度会計監査報告

(5) 平成14年度役員選任

(6) 平成14年度事業計画

(7) 平成14年度収支予算

・幹事会

第68回幹事会

日 時 平成14年5月17日(金) 14:00~15:00

場 所 東桜会館

議 題 (1) 総会提出議案について

(2) 14年度常任幹事の選任について

(3) 14年度事業計画の担当について

第69回幹事会

日 時 平成15年1月31日(金) 16:00~18:00

場 所 中都電力(株)本店本館1-2会議室

- 議 題 (1) 14 年度事業進捗状況について
(2) 15 年度支部役員改選について
(3) 15 年度支部総会について
(4) 14 年度中間決算および 15 年度予算案について
(5) 2003 年秋の大会準備について

・常任幹事会

第 101 回常任幹事会

日 時 平成 14 年 9 月 6 日 13 時～14 時 30 分

場 所 中部電力㈱本店本館 1-6 会議室

- 議 題 (1) 中部支部幹事について
(2) 14 年度事業計画と進捗状況について
(3) 2003 年秋の大会（静岡）準備委員会設立について
(4) その他

第 102 回常任幹事会

日 時 平成 14 年 11 月 8 日 16 時～18 時

場 所 中部電力㈱本店本館 4-2 会議室

- 議 題 (1) 14 年度事業計画と進捗状況について
(2) 2003 年秋の大会（静岡）準備委員会進捗状況確認
(3) 研究発表会について
(4) その他

第 103 回常任幹事会

日 時 平成 15 年 4 月 18 日 16 時～18 時

場 所 中部電力㈱本店本館原子力管理部第 1 会議室

- 議 題 (1) 第 35 回支部総会準備について
(2) 2003 年秋の大会（静岡）準備委員会進捗状況確認
(3) その他

平成 15 年度

・総 会（第 35 回）

期 日 平成 15 年 5 月 23 日（金）15：10～16：00

場 所 東桜会館 第 2 会議室

参加者 21 名

- 議 案 (1) 支部規約の改正について

- (2) 14年度事業実績報告
- (3) 14年度会計報告および会計監査報告
- (4) 15年度役員選任
- (5) 15年度事業計画および収支予算

・幹事会

第70回幹事会

期 日 平成15年5月23日

場 所 東桜会館

- 議 題
- (1) 総会議案確認
 - (2) 15年度事業計画役割分担
 - (3) 役員会交通費の取扱

第71回幹事会

期 日 平成16年1月23日

場 所 中部電力㈱会議室

- 議 題
- (1) 15年度事業進捗状況について
 - (2) 15年度中間収支について
 - (3) 16年度支部役員選挙について
 - (4) 16/17年度評議員選挙について
 - (5) 支部総会について
 - (6) 16年度予算および事業計画案について
 - (7) その他

・常任幹事会

第104回常任幹事会

期 日 平成15年10月30日～11月7日 *emailによる連絡で実施

- 議 題
- (1) 15年度事業進捗状況について
 - (2) 第35回研究発表会について
 - (3) 原子力学会秋の大会報告
 - (4) その他

平成16年度

・総会(第36回)

期 日 平成16年5月21日 15:00～15:50

場 所 東桜会館

参加者 30名

- 議 案 (1) 15年度事業実績報告
(2) 15年度会計報告および会計監査報告
(3) 16年度役員選任
(4) 16年度事業計画および収支予算
(5) 新顧問推戴

・ 幹事会

第72回幹事会

期 日 平成16年5月21日(金)

場 所 東桜会館

内 容 新旧役員の引継等

出席者 16名

第73回幹事会

期 日 平成17年1月27日(木)

場 所 中部電力会議室

内 容 選挙に関する事、および支部事業の活性化に関する審議等

出席者 9名

・ 常任幹事会

第105回常任幹事会

期 日 平成16年11月12日(金)

場 所 東桜会館第2会議室

内 容 支部事業のフォローアップと実施計画について

出席者 7名

平成17年度

・ 総 会 (第37回)

期 日 平成17年5月20日

場 所 名古屋金谷ホテル

参加者 23名

- 議 案 (1) 16年度事業実績
(2) 16年度収支決算
(3) 17年度役員選任
(4) 17年度事業計画および収支予算

・幹事会

第74回幹事会

期 日 平成17年5月20日（金）
場 所 名古屋金谷ホテル
内 容 新旧役員の引継等
出席者 15名

第75回幹事会

期 日 平成18年2月27日（月）
場 所 中部電力株式会社社会議室
内 容 役員選挙，会員増強策に関する審議等
出席者 8名

平成18年度

・総会（第38回）

期 日 平成18年5月29日（月）
場 所 東桜会館
出席者 23名
議 案 (1) 17年度事業報告および収支決算報告
(2) 17年度会計監査報告
(3) 18年度役員選任
(4) 18年度事業計画および収支予算

・幹事会

第76回幹事会

期 日 平成18年5月29日（月）
場 所 東桜会館
出席者 13名
内 容 新旧役員の引継等

第77回幹事会

期 日 平成19年1月29日（月）
場 所 東桜会館
出席者 12名
内 容 役員選挙、平成18年度事業実績および平成19年度事業計画等

平成19年度

・総会（第39回）

期 日 平成19年5月18日（金）

場 所 東桜会館

出席者 29名

- 議 案 (1) 18年度事業報告および収支決算報告
(2) 18年度会計監査報告
(3) 19年度役員選任
(4) 19年度事業計画および収支予算

・幹事会

第78回幹事会

期 日 平成19年5月18日（金）

場 所 東桜会館

出席者 13名

内 容 新旧役員引継等

第79回幹事会

期 日 平成20年1月28日（月）

場 所 東桜会館

出席者 9名

内 容 役員選挙、平成19年度事業実績および平成20年度事業計画等

平成20年度

・総会（第40回）

期 日 平成20年5月20日（火）

場 所 若竹クラブ

出席者 32名

- 議 案 (1) 中部支部規約改定および中部支部支部賞規程制定
(2) 19年度事業報告および収支決算報告
(3) 19年度会計監査報告
(4) 20年度役員選任
(5) 20年度事業計画および収支予算
(6) 顧問推戴

・幹事会

第80回幹事会

期 日 平成20年5月20日(火)

場 所 若竹クラブ

内 容 平成19年度事業実績および平成20年度事業計画等

出席者 15名

第81回幹事会

期 日 平成21年1月21日(水)

場 所 中部電力本店

内 容 平成20年度事業実績および平成21年度事業計画等

出席者 11名

2. 見学会

平成11年度

- ・東海地区(中部原子力懇談会と共催)参加者21名

期 日 平成11年10月1日(金)

場 所 中部電力(株)浜岡原子力発電所

- ・北陸地区(北陸原子力懇談会と共催)参加者39名

期 日 平成11年11月19日(金)

場 所 北陸電力(株)原子力PR館「アリス館志賀」及び志賀原子力発電所

平成12年度

- ・東海地区(中部原子力懇談会と共催)参加者22名

期 日 平成12年10月2日(月)

場 所 中部電力(株)浜岡原子力発電所

- ・北陸地区(北陸原子力懇談会と共催)参加者61名

期 日 平成12年11月22日(月)

場 所 北陸電力(株)原子力PR館「アリス館志賀」及び志賀原子力発電所

講演会

場 所 能登センター2F 研修ホール

演 題 身の回りの放射線・放射能

講 師 名古屋大学大学院工学研究科 瓜谷 章 氏

平成13年度

- ・東海地区（中部原子力懇談会と共催）
期 日 平成13年10月4日（木）
場 所 中部電力（株）浜岡原子力発電所
参加者 17名

- ・北陸地区（北陸原子力懇談会と共催）
期 日 平成13年11月30日（金）
場 所 北陸電力（株）志賀原子力発電所
参加者 5名

平成14年度

- ・東海地区（中部原子力懇談会と共催）
期 日 平成14年10月3日（木）
場 所 浜岡原子力発電所
参加者 17名

- ・北陸地区（北陸原子力懇談会と、共催）
期 日 平成14年11月22日（金）
場 所 北陸電力（株）志賀原子力発電所
参加者 38名

平成15年度

- ・東海地区（中部原子力懇談会と共催）
期 日 平成15年12月2日（火）
場 所 中部電力（株）浜岡原子力発電所
参加者 40名

- ・北陸地区（北陸原子力懇談会と共催）
期 日 平成15年12月12日（金）
場 所 石川県志賀オフサイトセンターおよび北陸電力（株）志賀原子力発電所
参加者 16名

平成16年度

- ・東海地区（中部原子力懇談会主催、当支部共催）

期 日 平成 16 年 10 月 23 日 (土)
場 所 中部電力株式会社 浜岡原子力発電所
参加者 29 名 (名古屋大学量子エネルギーコース 3 年生を中心)

- ・北陸地区 (北陸原子力懇談会主催, 当支部共催)

期 日 平成 16 年 11 月 16 日 (火)
場 所 石川県志賀オフサイトセンターおよび北陸電力株式会社志賀原子力発電所
参加者 31 名

- ・東濃地区 : 第 5 回講演会に併せて実施。

期 日 平成 17 年 3 月 11 日 (金)
場 所 核燃料サイクル開発機構 瑞浪超深地層研究所
参加者 16 名

平成 17 年度

- ・東海地区 (中部原子力懇談会主催, 当支部共催)。

期 日 平成 17 年 10 月 29 日 (土)
場 所 中部電力株式会社 浜岡原子力発電所
参加者 32 名 (名古屋大学量子エネルギーコース 3 年生を中心)

- ・北陸地区 (北陸原子力懇談会主催, 当支部共催)

期 日 平成 17 年 12 月 1 日 (木)
場 所 石川県志賀オフサイトセンターおよび北陸電力株式会社志賀原子力発電所
参加者 31 名

平成 18 年度

- ・東海地区 (中部原子力懇談会主催、当支部共催)

期 日 平成 18 年 10 月 28 日 (土)
場 所 中部電力株式会社 浜岡原子力発電所
参加者 33 名

- ・北陸地区 (北陸原子力懇談会主催、当支部共催)

期 日 平成 18 年 11 月 29 日 (水)
場 所 石川県志賀オフサイトセンターおよび北陸電力株式会社志賀原子力発電所
参加者 49 名

平成19年度

・東濃地区

講演会と併せて開催した。

期 日 平成19年9月21日（金）

場 所 日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター 瑞浪超深地層研究所

参加者 6名

・東海地区（中部原子力懇談会主催、当支部共催）

期 日 平成19年10月27日（土）

場 所 浜岡原子力発電所

参加者 31名

・北陸地区（北陸原子力懇談会主催、当支部共催）

期 日 平成19年11月16日（金）

場 所 石川県志賀オフサイトセンター

参加者 40名

平成20年度

・東海地区（中部原子力懇談会主催、当支部共催）

期 日 平成20年10月25日（土）

場 所 浜岡原子力発電所

参加者 32名

・北陸地区（北陸原子力懇談会主催、当支部共催）

期 日 平成20年11月28日（水）

場 所 石川県志賀オフサイトセンターおよび北陸電力株式会社志賀原子力発電所

参加者 32名

・東濃地区

期 日 平成21年2月19日（木）

場 所 核融合科学研究所

参加者 6名

3. 講演会

平成11年度

第1回総会記念講演会

日 時 平成11年5月13日(木) 14:00~18:00

場 所 愛知厚生年金会館

参加者 48名

演題および講師

(1) 将来の原子力システムを考える

名古屋大学名誉教授 内藤奎爾

(2) 生活の豊かさとエネルギー—原子力発電に思う—

名古屋女子大学教授 藤井富美子

(3) 21世紀革新原子力の概要

電力中央研究所特別顧問 服部禎男

第2回

日 時 平成11年9月13日(月) 14:00~15:30

場 所 名古屋大学工学部6号館3階原子核工学教室講義室

参加者 15名

演 題 「Optical and Structural Properties on Nanoparticles」

講 師 Professor S. K. Kulkarni, Department Of Physics, University of Pune,
Pune-411007, India

第3回

日 時 平成11年10月19日(火) 14:00-16:00

場 所 名古屋大学工学部6号館3階原子核工学教室講義室

参加者 25名

演 題 「Tritium Health Physics」

講 師 Dr. Richard V. Osborn, Atomic Energy of Canada Limited

第4回

日 時 平成11年11月5日(金) 14:00~16:00

場 所 核融合科学研究所(土岐)研究I期棟4階会議室

参加者 13名

演 題 「陽電子消滅法による材料物性研究」

講 師 大阪大学大学院工学研究科マテリアル科学専攻 白井 泰治 氏

第5回

日 時 平成11年11月15日(月) 13:30~14:30
場 所 名古屋大学工学部6号館3階原子核工学教室講義室
参加者 20名
演 題 大気の研究へのラドンの応用
講 師 Dr. Wlodek Zahorowski, Australian Nuclear Science and Technology Organization

第6回

日 時 平成12年1月17日(月) 13:00~17:00
場 所 ルブラ王山
参加者 25名
テーマ 融合炉に於けるプラズマと壁との相互作用
演題および講師
(1) Review of PHI in JET and TEXTOR
Dr. Volker Philipps, ユーリッヒ研究機構、ドイツ
(2) Application of Ion Beam Techniques for PMI Studies
Dr. Marek Rubel 王立技術研究所、スウェーデン
(3) Spectroscopic Techniques for PMI Studies
Dr. Albrecht Pospieszczyk, ユーリッヒ研究機構、ドイツ

第7回

日 時 平成12年3月23日(木) 13:00~18:00
場 所 名古屋大学ヘンチャー・ビジネス・ラボラトリ
参加者 36名
テーマ 廃棄物の観点から見た原子力エネルギー
演題および講師
(1) 2050年までのシナリオ検討(何が支配因子か?)
東京電力原子力研究所グループマネージャー 天野 治
(2) 核燃料サイクルの論理
日本原子力研究所 物質科学研究グループマネージャー 小川 徹
(3) 核的過程、生物活動そして放射性廃棄物処分
ーこれからの原子力学の一つの方向ー
北海道大学大学院工学研究科 助教授 佐藤 正知
(4) 自己整合性を有する原子力システムにおける燃料サイクルについて
東芝電力システム原子力技術研究所 主査 藤田 玲子

(5) 簡易熱および核種移行解析による核種グルーピングと

廃棄物処分負荷の軽減

東海大学工学部原子力工学科 助教授 大江 俊昭

第8回

日 時 平成12年3月24日(金) 9:30~18:00

場 所 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ

参加者 29名

テーマ 核エネルギー利用に伴う環境負荷低減を考える

演題および講師

(1) 核エネルギー利用にともなう環境負荷低減技術に関する研究の概要

名古屋大学 教授 山本一良

(2) 核燃料サイクルパラメタと高レベル放射性廃棄物処分場の関係

California 大学 助教授 Joonhong Ahn

(3) アクチニドおよび核分裂生成貴金属利用熱電材料の開発

名古屋大学 教授 松井 恒雄

(4) 使用済燃料の発熱を利用する熱拡散塔による窒素同位体の分離

名古屋大学 助手 小林 登

(5) 超臨界流体抽出を用いた金属酸化物の処理

名古屋大学 助教授 榎田 洋一

平成12年度

第1回総会記念講演会

日 時 平成12年5月19日(金) 15:30~17:00

場 所 メルパルク名古屋(郵便貯金会館)5階「雪」「月」の間

参加者 65名

演 題 原子力の安全に想う

講 師 名古屋大学 名誉教授(原子力安全委員会委員) 金川 昭

第2回

日 時 平成12年8月31日(木) 14:00~16:00

場 所 中都電力(株)原子力管理部第1会議室

参加者 19名

演 題 低放射化コンクリートについての研究状況と将来

講 師 (株)フジタ 金野 正晴 氏

第3回

日 時 平成12年10月4日(水) 13:00~17:00

場 所 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター

および、東濃鉦山・超深地層研究所計画用地

参加者 4名

演 題 地層科学研究の現状と今後の課題

講 師 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター研究主査 湯佐 泰久

平成13年度

第1回総会記念講演会

期 日 平成13年5月17日(木) 16:10~17:30

場 所 東桜会館

参加者 46名

演 題 「高レベル放射性廃棄物処分に関する現状と今後の動向」

講 師 原子力発電環境整備機構 理事 増田 純男

第2回

期 日 平成13年7月27日(火) 13:10~14:30

場 所 名古屋大学工学部6号館講義室

参加者 40名

演 題 「大気・地表面環境での物質移行モデル」

講 師 日本原子力研究所陸地環境研究グループリーダー 山澤 弘実

第3回

期 日 平成13年9月27日(金) 15:30~16:30

場 所 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター

参加者 17名

演 題 「自然から学ぶ放射性廃棄物処分の知恵」

講 師 核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター研究主席 湯佐泰久

第4回

期 日 平成13年10月26日(金) 14:00~16:00

場 所 あおば生命ビル9階9-3会議室

参加者 15名

演 題 「核融合・高エネルギー中性子によるコンクリートの放射化」

講 師 清水建設(株)技術研究所 主任研究員 大石晃嗣

第5回

期 日 平成13年11月16日(金) 10:00~12:00
場 所 名古屋大学工学部6号館3階講義室
参加者 15名
演 題 「Surface Channeling Experiments and Electronic Surface Corrugation」
講 師 Prof. Werner Heiland

第6回 (北陸原子力懇談会と共催)

期 日 平成13年11月30日(金)
場 所 (財)能登原子力センター
参加者 35名
演 題 「原子炉内における熱流動現象について」
講 師 名古屋大学 助教授 辻 義之

第7回 (中原懇主催、名大原子核工学教室海外研究者招聘事業会と共催)

期 日 平成14年3月11日(月)
場 所 名古屋商工会議所3階第3会議室
参加者 34名
演 題 「超小型加速器の開発と応用
ーシリコンバレーとベンチャーの経験を踏まえて」
講 師 (株)エー・イー・ティー・ジャパン社長/東京工業大学原子炉工学研究所講師

田辺 英二

平成14年度

第1回総会講演会

期 日 平成14年5月17日(金) 16:10~17:30
場 所 東桜会館第2会議室
参加者 35名
演 題 「宇宙におけるエネルギー開発」
講 師 宇宙開発事業団技術研究本部先端ミッション研究センター
主任開発部員 森 雅裕

第2回

期 日 平成14年7月19日(金) 13:00~17:00

場 所 核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター

参加者 27名

演 題 「1万年後を予測した技術は成立するか？」

講 師 名古屋大学 名誉教授 熊澤 峰夫

*併せて東濃鉱山，瑞浪超深地層研究所用地の見学を実施

第3回

期 日 平成14年11月8日(金) 14:00~16:00

場 所 中部電力(株)本店本館4-2会議室

参加者 13名

演 題 「クリアランスレベルに係る国内外の検討状況について」

講 師 日本原子力研究所バックエンド技術部 放射性廃棄物管理第1課 大越 実

第4回(名古屋大学工学研究科原子核工学教室海外研究者招聘事業会との共催)

期 日 平成14年11月19日(火) 16:30~

場 所 名古屋大学工学部6号館3階原子核工学教室講義室

参加者 21名

演 題 Coherent Excitation in Fundamental Research

講 師 Institute of Theoretical and Experimental Physics Vladilen V. Okorov

第5回(北陸原子力懇談会と共催)

期 日 平成14年11月22日(金)

場 所 (財)能登原子力センター2階研修室

参加者 38名

演 題 「分子吸着系材料と原子力分野の接点」

講 師 名古屋大学工学研究科八木伸也氏

第6回

期 日 平成15年1月24日(金)

場 所 名古屋大学工学研究科IB電子情報館081号室

参加者 20名

演 題 「Nuclear Waste Management in Switzerland」

講 師 Neil Chapman

第7回

期 日 平成15年1月31日(金) 14:00~16:00

場 所 中部電力㈱本店 1-2 会議室

参加者 12 名

演 題 「ふげんのデコミッションングについて」

講 師 核燃料サイクル開発機構敦賀本部 技術企画部次長 岸和田 勝美

平成 15 年度

第 1 回 総会講演会

講 師 核燃料サイクル開発機構東濃地科学センタ 非常勤客員研究員 熊澤 峰夫

演 題 「われわれは何処へ行こうかー地球生命史の視点で考える」

期 日 平成 15 年 5 月 23 日 (金) 16:10~17:30

場 所 東桜会館 第 2 会議室

参加者 23 名

第 2 回

講 師 (財) 電力中央研究所 狛江研究所 原子力システム部 上席研究員 服部 隆利

演 題 「金属のクリアランスレベル検認の問題点とその解決方法について」

期 日 平成 15 年 10 月 10 日 (金) 14:00~16:00

場 所 中部電力㈱1-6 会議室

参加者 17 名

第 3 回 (北陸原子力懇談会と共催)

講 師 名古屋大学アイソトープ総合センター 助教授 柴田 理尋

演 題 「新核種の創製とその質量の決定」

期 日 平成 15 年 12 月 12 日 (金) 11:00~12:20

場 所 石川県志賀オフサイトセンター

参加者 42 名

第 4 回

講 師 広島大学大学院生物圏科学研究科 助教授 長沼 毅

演 題 「地底に広がる生命の世界-微生物から見た深部地質環境-」

期 日 平成 16 年 3 月 15 日 (月)

場 所 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター

参加者 16 名

平成 16 年度

第 1 回 総会講演会

期 日 平成 16 年 5 月 21 日

場 所 東桜会館

内 容 「3次元詳細メッシュ多群輸送ノード法に基づく

次世代 PWR 炉心計算コードの開発」

名古屋大学大学院工学研究科 助教授 山本 章夫

「水素エネルギーの展望と原子力」

文部科学省 科学技術政策研究所 主任研究官 大森 良太

参加者 30 名

第 2 回

(名古屋大学工学研究科量子エネルギー工学教室 海外研究者招聘事業会主催, 当支部共催)

期 日 平成 16 年 10 月 15 日 (金) 13:00~17:40

場 所 名古屋大学グリーンサロン東山 ミーティング・ルーム

内 容 「Effect of Electronic Structures of Solids

and Low Dimension on Ion Surface Charge Transfer」

Professor I. F. Urazgildin (Moscow State University, Russia)

「Electron Emission from Low-Energy Ions Interacting

with a MgO Thin Film Deposited on a Mo Substrate」

Dr. P.A. Zeijlmans van Emmichoven

(Utrecht University, The Netherlands)

「Ion Beam Analysis with Monolayer Depth Resolution」

Professor H.D. Carstanjen (Universität Stuttgart, Germany)

「Investigation of Thermal Vibration Correlation

of [110] Silicon Lattice Atoms by Ion Scattering」

Dr. J. W. Lee (Hallym University, Korea)

「Surface Modification and formation of Nano Size Features through

Electronic Energy Loss in Swift Heavy Ion Irradiated Silicon」

Dr. S.D. Dhole (University of Pune, India)

参加者 18 名

第 3 回

期 日 平成 16 年 11 月 12 日 (金) 14:00~16:00

場 所 東桜会館 第 2 会議室

内 容 「クリアランス対応技術と問題点について」

ラド・テック・コンサルティング事務所代表コンサルタント 安中 秀雄

参加者 12 名

第4回（北陸原子力懇談会の主催，当支部共催）

期 日 平成16年11月16日（火）11:00～12:30

場 所 石川県 志賀オフサイトセンター

内 容 「原子力緊急時対応のための SPEEDI 開発と応用研究」

名古屋大学大学院工学研究科 助教授 山澤 弘実

参加者 31名

第5回

（併せて核燃料サイクル開発機構 瑞浪超深地層研究所見学会を実施）

期 日 平成17年3月11日（金）13:15～14:45

場 所 核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター瑞浪地科学研究館

内 容 「東海・東南海地域のプレート間地震の常時監視に向けて」

東京大学名誉教授 笠原 順三

参加者 16名

平成17年度

第1回 総会講演会

期 日 平成17年5月20日（金）

場 所 名古屋金谷ホテル

内 容 「福井大学原子力・エネルギー安全工学専攻が目指すもの」

福井大学大学院工学研究科

原子力・エネルギー安全工学専攻 教授 福井 卓雄

「愛知万博における新エネルギーシステムの実証について」

新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー技術開発部

統括研究員 田中愁佳夫

参加者 23名

第2回：北陸原子力懇談会主催，当支部共催にて実施。

期 日 平成17年12月1日（木）

場 所 能登原子力センター

内 容 「人工生命技術と原子炉炉心設計への応用」

名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻 助教授 山本章夫

参加者 31名

第3回

期 日 平成18年3月13日(月)

場 所 東桜会館

内 容 「地震災害への備え：一災害文化の育成をー」

名古屋大学大学院

環境学研究科附属地震火山・防災研究センター 教授 藤井 直之

参加者 10名

平成18年度

第1回 総会講演会

期 日 平成18年5月29日(月)

場 所 東桜会館

内 容 「ゆらぐ核不拡散体制とその立直し ー日本の対応ー」

前原子力委員会委員長代理 遠藤 哲也

参加者 36名

第2回(北陸原子力懇談会主催、当支部共催)

期 日 平成18年11月29日(水)

場 所 能登原子力センター

内 容 「ナノスケール表面分析法を用いた極薄膜材料の構造解析」

名古屋大学大学院工学研究科 助教授 柚原 淳司

参加者 49名

平成19年度

第1回 総会講演会

期 日 平成19年5月18日(金)

場 所 東桜会館

内 容 「食品照射のこれまでの歩みと今後の課題」

(独) 日本原子力研究開発機構 嘱託 久米 民和

参加者 47名

第2回

東濃地区見学会と併せて開催。

期 日 平成19年9月21日(金)

場 所 日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター 瑞浪超深地層研究所

内 容 「地下環境の理解 ー現象とその応用ー」

名古屋大学博物館准教授 吉田英一

参加者 17名

第3回

北陸原子力懇談会主催、当支部共催にて実施。

期 日 平成19年11月16日(金)

場 所 能登原子力センター

内 容 「量子線と固体との相互作用」

名古屋大学大学院工学研究科 准教授 吉田朋子

参加者 40名

平成20年度

第1回 (総会講演会)

期 日 平成20年5月20日(火)

場 所 若竹クラブ

内 容 「核融合炉の実現に向けて

～建設が始まったITERとこれらを支える核融合研究～」

(独)日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門

核融合エネルギー工学研究開発ユニット長 秋場 真人

参加者 43名

第2回

北陸原子力懇談会主催、当支部共催にて実施した。

期 日 平成20年11月28日(水)

場 所 能登原子力センター

内 容 「放射線による非破壊検査の対人地雷探知への応用」

名古屋大学大学院 准教授 河原林 順

参加者 44名

第3回

期 日 平成21年2月19日(木)

場 所 核融合科学研究所

内 容 「ヘリカル型核融合炉への展望」

核融合科学研究所炉工学研究センター長 教授 相良明男

参加者 6名

4. 研究発表会

平成11年度

期 日 平成11年12月7日（火）～8日（水） 参加者 124名

場 所 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ

一般講演 32件

特別講演 1件

シンポジウム

「－原子力研究の最先端を知る（第8回）原子力における計算科学の展開」

平成12年度

期 日 平成12年12月5日（火）～6日（水） 参加者 105名

場 所 名古屋大学共同教育研究施設棟2号館8階会議室

一般講演 23件

特別講演 1件

シンポジウム

「今、原子力研究は何がおもしろいか－原子力研究の最先端を知る

（第9回）ナノテクノロジーと量子エネルギー」

平成13年度

期 日 平成13年12月4日（火）～5日（水） 参加者 140名

場 所 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

一般講演 31件

特別講演 1件

シンポジウム

「今、原子力研究は何がおもしろいか－原子力研究の最先端を知る

（第10回）原子燃料サイクルの新展開」

平成14年度

期 日 平成14年12月3日（火）～4日（水） 参加者 78名

場 所 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

一般講演 33件

特別講演 1件

シンポジウム

「今、原子力研究は何がおもしろいか－原子力研究の最先端を知る

（第11回）環境問題への放射線の有効利用」

平成15年度

期 日 平成15年12月9日(火), 10日(水) 参加者 120名
場 所 名古屋大学 ベンチャービジネスラボラトリー
一般講演 35件
「21世紀COEプログラム:同位体が拓く未来」関連講演が10件

平成16年度

期 日 平成16年12月7日(火), 8日(水) 参加者 126名
場 所 名古屋大学 ベンチャービジネスラボラトリー
一般講演 46件
特別講演 2件
シンポジウム
「今、原子力研究は何がおもしろいか—原子力研究の最先端を知る
(第12回)原子力関連学会の受賞講演」

平成17年度

期 日 平成17年12月6日(火), 7日(水) 参加者 102名
場 所 名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリー
一般講演 31件
招待講演 5件

平成18年度

期 日 平成18年12月12日(火), 13日(水) 参加者 128名
場 所 名古屋大学 ベンチャービジネス・ラボラトリー
一般講演計 51件

平成19年度

期 日 平成19年12月11日(火), 12日(水) 参加者 91名
場 所 名古屋大学 ベンチャービジネス・ラボラトリー
一般講演 33件

平成20年度

期 日 平成20年12月9日(火)~10日(水) 参加者 134名
場 所 名古屋大学 ベンチャービジネス・ラボラトリー
一般講演 42件

5. セミナー

平成11年度

- ・第21回夏期エネルギーセミナー（北陸原子力懇談会と共催）

期 日 第1回平成11年8月3日（火）参加者23名

第2回平成11年8月27日（金）参加者39名

講演会場所 （財）能登原子力センター

演 題 「お茶の間の話題として

ーエネルギー・経済・人工・食糧ー自然環境の諸問題」

元金沢大学理学部教授・附属低レベル放射能実験施設長 上野 馨

「わが国のエネルギー事情と原子力」

（株）日立製作所原子力事業部 技師長 加藤 洋明

見学会

場 所 北陸電力（株）原子力PR館「アリス館志賀」及び志賀原子力発電所

- ・夏期エネルギー・原子力セミナー

（中部原子力懇談会と共催、（財）日本原子力文化振興財団後援）

期 日 平成11年8月16日（月）～17日（火）

講演会 参加者56名

演 題 「わが国を巡るエネルギー情勢」

岐阜聖徳学園大学 教授 牛島 俊明

「21世紀のエネルギー教育のあり方を考える」

日本科学教育学会 顧問 飯利 雄一

見学会 参加者85名

場 所 核燃料開発サイクル機構高速増殖炉もんじゅ建設所

中部電力（株）浜岡原子力発電所

平成12年度

- ・エネルギーセミナーin尾小屋（北陸原子力懇談会と共催）

期 日 平成12年10月7日（土）参加者21名

講演会

場 所 小松市公会堂

演 題 「考えてみませんか“日本のエネルギー”」

元金沢大学理学部 教授 上野 馨

「低レベル放射能測定の限界に挑む

“宇宙・隕石・環境・事故の解明をめざして”」

金沢大学理学部 教授 小村 和久

見学会 金沢大学理学部附属極低レベル放射能尾小屋地下測定室、
尾小屋鉱山資料館

・夏期エネルギー・原子力セミナー

(中部原子力懇談会と共催、(財)日本原子力文化振興財団後援)

期 日 平成12年8月10日(木)～11日(金)

講演会 参加者59名

演 題 新エネルギーの現状と課題

四日市大学環境情報学部教授、(財)電力中央研究所研究参事 新田 義孝
自然放射線って本当にあるの？

学校法人富山第一高等学校教諭 戸田 一郎
エネルギー教育～実践事例

①ペットボトルを使った風力発電

愛知県立津島高等学校 教諭 早川 新司

②メタン菌利用によるバイオマスエネルギー

愛知県立惟信高等学校 教諭 井中 宏史

見学会 参加者82名(久居59名、浜岡23名)

場所1:久居・榊原風力発電所、中部電力川越火力発電所

場所2:中部電力浜岡原子力発電所

平成13年度

・エネルギーセミナー(北陸原子力懇談会と共催)

期 日 平成13年9月20日(木)参加者25名

講演会

場 所 金沢勤労者プラザ

演 題 「お茶の間の目線で見えた日本のエネルギー」

元金沢大学理学部 教授 上野 馨

見学会

場 所 北陸電力(株)志賀原子力発電所

・夏期エネルギー・原子力セミナー

(中部原子力懇談会および日本原子力文化振興財団と共催)

セミナー参加者57名

期 日 平成13年8月8日

場 所 名古屋商工会議所

講師 元名古屋工業大学教授 犬飼英吉氏

見学会

(1)期 日 平成 13 年 8 月 9 日 参加者 27 名

場 所 中部電力（株）浜岡原子力発電所

(2)期 日 平成 13 年 8 月 27 日 参加者 27 名

場 所 中部電力（株）川越火力発電所 久居市風力発電施設

(3)期 日 平成 13 年 8 月 29 日 参加者 37 名

場 所 中部電力（株）奥美濃水力発電所

平成 14 年度

・第 24 回夏期エネルギーセミナー（北陸原子力懇談会と共催）

a. 第 1 回

期 日 平成 14 年 8 月 9 日（金）

場 所 金沢勤労者プラザ

参加者 42 名

演 題 「環境に優しいエネルギー」

北陸先端科学技術大学院大学 新素材センター 教授 辻 利秀

b. 第 2 回

期 日 平成 14 年 9 月 27 日（金）

場 所 金沢勤労者プラザ

参加者 42 名

演 題 「エネルギーと地球環境問題」

北陸先端科学技術大学院大学 新素材センター 教授 辻 利秀

・夏期エネルギー・原子力セミナー（中部原子力懇談会と共催）

a. セミナー

期 日 平成 14 年 8 月 5 日（月）

場 所 名古屋商工会議所

参加者 43 名

演 題 「地球環境問題とエネルギー」

講師（財）電力中央研究所 参事 中岡 章

「風力発電について考える～大学での観測実践事例」

愛知淑徳大学 教授 仁科 浩二郎

b. 見学会

(1)期 日 平成 14 年 8 月 7 日（水）

場 所 中部電力（株）浜岡原子力発電所

参加者 35 名

(2)期 日 平成 14 年 8 月 19 日 (月)
場 所 中部電力 (株) 奥美濃水力発電所
台風 6 号のため中止

平成 15 年度

- ・第 25 回夏期エネルギーセミナー (北陸原子力懇談会と共催)

期 日 平成 15 年 9 月 19 日 (金)
場 所 研修センター労災会館
受講者 北陸 3 県の高校, 専門学校の教職員および大学生等 34 名
講 演 「エネルギー・地球環境・生命科学への放射線の利用」
富山医科薬科大学 医学部 教授 近藤 隆
見学会 北陸電力(株)志賀原子力発電所および石川県志賀オフサイトセンター

- ・第 30 回夏期エネルギー・原子力セミナー (中部原子力懇談会と共催)

①講義, 演習

期 日 平成 15 年 8 月 1 日 (金)
場 所 名古屋商工会議所ビル内会議室
受講者 中部地方の小・中・高校教師 43 名
講 義 総合学習と放射線測定器「はかるくん」の活用
(財)放射線計測協会 業務課課長代理 石沢 昌登
21 世紀のエネルギー問題と教育授業のあり方
東京大学原子力研究総合センター助教授 小佐古 敏荘
実 習 やってみよう!手づくり理科教室
名古屋大学 名誉教授 森 千鶴夫

見学会

(1)期 日 平成 15 年 8 月 5 日 (火)
場 所 核燃料サイクル開発機構 もんじゅ建設所
受講者 中部地方の小・中・高校教師 39 名
(2)期 日 平成 15 年 8 月 7 日 (木)
場 所 青山高原ウィンドファーム・中部電力川越火力発電所
受講者 中部地方の小・中・高校教師 40 名

平成 16 年度

- ・エネルギーセミナー:

北陸三県の小・中・高校, 専修学校, 短期大学, 高専の教職員および専修学校, 短大,

高専，大学，大学院生を対象に，北陸原子力懇談会の主催，当支部共催にて実施した。

講演会 参加者 32名

期 日 平成16年10月19日（火） 9:30～11:00

場 所 研修センター労済会館2階第3研修室

内 容 「地球に優しいエネルギーは何か」

北陸先端科学技術大学院大学 教授 辻 利秀

見学会 参加者 14名

期 日 平成16年10月19日（火） 13:00～15:40

場 所 北陸電力株式会社 志賀原子力発電所，フローリィ

・夏期エネルギー・原子力セミナー

中部地方の小・中・高校教師を対象に，計3日間にわたり，中部原子力懇談会の主催，当支部の後援として実施した。

a セミナー

期 日 平成16年8月5日（金） 10:45～12:15

場 所 名古屋商工会議所ビル第5会議室

内 容 「高レベル放射性廃棄物の処分に向けた取り組み」

原子力発電環境整備機構 立地広報部長 久芳 道義

「我が国のエネルギー消費構造と省エネルギーの可能性」

株式会社 住環境計画研究所代表取締役 中上 英俊

参加者 50名

b 見学会

(1)期 日 平成16年8月9日（月）

場 所 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター

参加者 33名

(2)期 日 平成16年8月11日（水）

場 所 中部電力株式会社 奥美濃水力発電所

参加者 41名

平成17年度

・エネルギーセミナー

北陸三県の小・中・高校，専修学校，短期大学，高専の教職員および専修学校，短大，高専，大学，大学院生を対象に，北陸原子力懇談会。主催，当支部共催にて実施した。

a 講演会

期 日 平成17年8月5日（金）

場 所 金沢勤労者プラザ

内 容 「地球温暖化回避と原子力発電の役割」

金沢工業大学工学部電気電子工学科 教授 安川 茂

参加者 31名

b 見学会

期 日 平成17年8月5日(金)

場 所 北陸電力株式会社志賀原子力発電所, アリス館志賀

参加者 31名

・夏期エネルギー・原子力セミナー

中部地方の小・中・高校教師を対象に、計3日間にわたり、中部原子力懇談会の主催、当支部の後援として実施した。

a セミナー

期 日 平成17年8月2日(火)

場 所 名古屋商工会議所ビル

内 容 「教育関係者による「放射線」への正しい理解の必要性」

放射線教育フォーラム幹事南関東地区代表 黒杭 清治

「エネルギー・環境問題の読み方」

エネルギージャーナリスト 新井 光雄

参加者 43名

b 見学会

(1)期 日 平成17年8月9日(火)

場 所 電源開発株式会社佐久間ダム、水力発電所、周波数変換所

参加者 39名

(2)期 日 平成17年8月11日(木)

場 所 自然科学研究機構核融合科学研究所

および核燃料サイクル開発機構瑞浪超深地層研究所

参加者 39名

平成18年度

・夏期エネルギー・原子力セミナー

中部地方の小・中・高校教師を対象として、計3日間にわたり、中部原子力懇談会の主催、当支部後援として実施。

a セミナー

期 日 平成18年8月2日(水)

場 所 名古屋商工会議所ビル

内 容 「原子燃料サイクルの確立に向けた取り組み」

日本原燃株式会社 広報・地域交流室 広報部長 石田 芳樹
「バイオマス、水素、原子力、・・・エネルギーの最新動向と展望」
慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 助教授 金谷 年展

参加者 39名

b 見学会

(1)期 日 平成18年8月4日(金)

場 所 中部電力株式会社 浜岡原子力発電所

参加者 19名

(2)期 日 平成17年8月7日(月)

場 所 三菱電機株式会社 中津川製作所、飯田工場

参加者 39名

・エネルギーセミナー

富山県、石川県、福井県内の教職員および大学生を対象として、北陸原子力懇談会の主催、当支部共催にて実施。

a 講演会

期 日 平成17年8月29日(火)

場 所 研修センター労済会館(金沢市)

内 容 「原子力発電所の地震対策」

北陸電力株式会社 原子力安全推進室 副室長(耐震安全担当)前川 功

参加者 35名

b 見学会

期 日 平成17年8月29日(火)

場 所 北陸電力株式会社 志賀原子力発電所、アリス館志賀

参加者 20名

平成19年度

・エネルギーセミナー

富山県、石川県、福井県内の教職員および大学生を対象として、北陸原子力懇談会の主催、当支部共催にて実施した。

a 見学会

期 日 平成19年8月24日(金)

場 所 日本原子力研究開発機構「もんじゅ」

参加者 38名

平成20年度

・エネルギーセミナー

富山県、石川県、福井県内の教職員および大学生を対象として、北陸原子力懇談会の主催、当支部共催にて実施した。

a 講演会

期 日 平成20年8月20日（水）

場 所 金沢勤労者プラザ

内 容 「いっしょに考えませんか？ 高レベル放射性廃棄物処分のこと」

日本原子力産業協会 担当役 赤坂秀成

参加者 37名

b 見学会

期 日 平成20年8月20日（水）

場 所 志賀原子力発電所 他

参加者 16名

6. 研究委員会

平成11年度

・シンポジウム

(1) 「先端技術と原子力」シンポジウム

（「原子力と先端技術」研究専門委員会主催、（財）中部科学技術センター共催）

参加者 120名

期 日 平成11年8月20日（金）

会 場 愛知厚生年金会館

演 題 「高速増殖炉の研究開発の方向性」

核燃料サイクル機構 東海事業所

ブルトニウム燃料開発グループリーダー 遠藤 秀男

「高速増殖炉における冷却方法の新技术と今後の課題」

中部電力（株） 原子力計画部 嶋田 雅樹

「超伝導とエネルギー貯蔵」

中部電力（株）電力技術研究所 超伝導チームリーダー 長屋 重夫

「風力発電の最近のシンポと今後の展望」

日本鋼管 コンセプトエンジニアリングセンター

風力発電グループ次長 藤沢 良樹

「地下空間利用の有効性と今後の課題」

(2) 第7回原子力エネルギーシステムシンポジウム

(原子力エネルギーシステム研究委員会主催、(財)中部科学技術センター共催)

参加者 65名

期 日 平成11年11月26日(金)

会 場 愛知厚生年金会館

演 題 「中国エネルギー事情視察団に参加して」

静岡県立大学 国際関係学部 講師 水野 かほる

「素粒子研究の最前線

ースーパーカミオカンデの成果と筑波・神岡間ニュートリノ振動実験」

高エネルギー加速器研究機構 物理第三研究系

研究主幹/教授 中村 健蔵

「21世紀第2フェーズの原子力」

財団法人 電力中央研究所 特別顧問 服部 禎男

「新型転換炉ふげんの運転経験と今後の廃止措置について」

核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所

所長(特任参事) 柳沢 務

・研究会

(1) 「原子力と先端技術」研究専門委員会

第1回研究専門委員会 参加者28名

日 時 平成12年3月10日(金) 13:30~17:00

場 所 敦賀市内

講 演 「原子力における安全文化の醸成」

電力中央研究所経済研究所 上席研究員 谷口 武俊

「原子炉解体における新技術開発」

日本原子力研究所 バックエンド技術部

デコミッションング技術開発室長 柳原 敏

「超臨界流体を用いた核燃料再処理技術(直接抽出法)の開発」

名古屋大学工学研究科 原子核工学専攻 助教授 榎田 洋一

ニュークリア・デベロップメント(株) 高阪 祐二

(2) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第31回 平成11年5月28日(金) 13:30~17:00

参加者 18名

場 所 中部電力(株)本店

講 演 「熔融炉塩の特性について」

豊橋技術科学大学 教授 三田地紘史

「再処理廃棄物からの元素の分離一群分離・消滅処理」

電力中央研究所 井上 正
「高レベル放射性廃棄物地層処分の安全評価における重要核種について」
核燃料サイクル開発機構 石黒 勝彦

第 32 回 平成 11 年 7 月 16 日 (金) ~17 (土)

参加者 16 名

見学会 スーパーカミオカンデ、東濃地科学センター

第 33 回 平成 12 年 1 月 21 日 (金) 13:30~17:00

参加者 18 名

場 所 富士電機 (株) 本社

講 演 「ドイツにおける原子力情勢：連立政権の原子力政策」

アイ・イー・エー・ジャパン 研究員 風間 武彦

「スウェーデンにおける原子力情勢：原子力廃止政策の実状」

アイ・イー・エー・ジャパン 研究員 服部 智美

「WEN による原子力広報活動について」

中部原子力懇談会 大谷 まさみ

平成 12 年度

・シンポジウム

(1) 「先端技術と原子力」シンポジウム (第 7 回)

(「先端科学と原子力」研究専門委員会主催、(財) 中部科学技術センター共催)

参加者 86 名

期 日 平成 12 年 8 月 25 日 (金)

会 場 愛知厚生年金会館

演 題 「原子力発電所への貴金属注入技術の適用」

中部電力 (株) 原子力管理部運営グループ 副長 渡辺 哲也

「核分裂生成貴金属利用高性能熱電材料」

名古屋大学工学研究科 量子工学専攻 教授 松井 恒雄

名古屋大学工学部 物理工学科 助教授 有田 裕二

「高速増殖炉サイクル実用化研究の現況について」

(1) 研究の全体概要

核燃料サイクル開発機構・FBR サイクル開発推進部

部長 野田 宏

企画調整グループ研究主幹 原 英明

(2) 炉システムに関する設計研究

核燃料サイクル開発機構・大洗工学センターシステム技術開発部

FBRシステムグループ研究主幹 笠井 重夫

(3) 炉心燃料に関する設計研究

同上 炉心燃料グループ研究主幹 水野 朋保

(4) 再処理システムに関する設計研究

同上 再処理システムグループ研究主席 河村 文雄

(5) 燃料製造システムに関する設計研究

同上 燃料製造グループ研究主幹 田中 健哉

(2) 第8回原子力エネルギーシステムシンポジウム

(原子力エネルギーシステム研究委員会主催、(財)中部科学技術センター共催)

参加者 54名

期 日 平成12年11月17日(金)

会 場 愛知厚生年金会館

演 題 「欧米の原子力事情と日本のエネルギーオプション」

アイ・イー・エー・ジャパン 代表取締役 西堂 紀一郎

「環境リサイクルの問題点と原子燃料リサイクル」

芝浦工業大学 学長補佐 武田 邦彦

「改良型コンバインドサイクルと熱効率向上の取り組み」

中部電力(株)火力部建設グループ課長 坂口 光

「21世紀の新型炉開発の取り組みについて」

日本原子力発電(株) 顧問 吉村 元孝

・研究会

(1) 「先端科学と原子力」研究専門委員会

参加者 28名

日 時 平成13年2月9日(金)

場 所 若竹クラブ

講 演 「高温ガス炉による水素製造」

日本原子力研究所 大洗研究所所長 田中 利幸

「高温超伝導技術の開発と現状」

中部電力(株)電力技術研究所 長屋 重夫

「マイクロガスタービンの開発の現状と将来」

東京ガス(株)エネルギーソリューション事業部部長 三浦 千太郎

(2) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第34回 平成12年5月26日(金)

参加者 21名

場 所 中都電力（株）本店
内 容 「臨界事故の組織的背景要因」
(財) 電力中央研究所主任研究員 佐相 邦英
「JCO 臨界事故報告」
愛知淑徳大学 教授 仁科 浩二郎
「NS ネットの設立と取り組み」
中部電力（株）奈良間 雄

第 35 回 平成 12 年 7 月 28 日（金）～29 日（土）

参加者 9 名
見学会 1 川越火力発電所
2 久居榊原風力発電施設
3 竹原水力発電所

第 36 回 平成 13 年 1 月 26 日（金）

参加者 18 名
場 所 富士電機（株）本社
講 演 「JCO 臨界事故が一般公衆に及ぼした影響について」
(株) 原子力安全システム研究所 北田 淳子
「原子力におけるリスクコミュニケーションの動向」
慶応義塾大学 商学部 助教授 吉川 肇子
「原子力発電施設の耐震設計について」
大成建設（株） 森山健一

平成 13 年度

・シンポジウム

- (1) 「物理、化学及び工学における同位体効果国際シンポジウム」
(名古屋大学工学研究科原子核工学教室、名古屋大学工学研究科原子核工学
教室海外研究者招聘事業会主催、「先端科学と原子力」研究専門委員会共催)
参加者 94 名
期 日 平成 13 年 8 月 22 日（水）～24 日（金）
場 所 愛知厚生年金会館
発 表 54 件（うちパネルディスカッション 2 件）
- (2) 第 9 回原子力エネルギーシステムシンポジウム
(原子力エネルギーシステム研究委員会主催、中部科学技術センター共催)

参加者 62名

期 日 平成13年11月30日(金)

場 所 東桜会館第2会議室

演 題 「21世紀の国際深海掘削科学計画について」

海洋科学技術センター深海地球ドリリング計画推進本部

特別参事 山川稔

「海洋揚水発電の実証試験について」

電源開発(株)エンジニアリングセンター 所長代理 和田文雄

「カリフォルニア電力危機について」

(株)三菱総研 システム政策部 部長 諸住 哲

「MOX燃料加工について」

核燃料サイクル機構東海事業所プルトニウム燃料センター

センター長 大島 博文

日本原燃(株)燃料製造部 副部長 蓮池 透

「中部電力(株)浜岡原子力発電所1号機の事故について」

中部電力(株)原子力管理部 技術グループ長 中世古 良央

・研究会

(1) 「先端科学と原子力」研究専門委員会

参加者 32名

期 日 平成13年10月18日(木)

場 所 東桜会館第1会議室

講 演 「完全自動運転の超安全高速炉 RAPID」

(財)電中研泊江研究所原子力システム部 上席研究員 神都 満

「X線CTによる新しい照射後試験」

核燃料サイクル開発機構燃料材料試験部 伊藤 正彦

「フッ化発揮法と溶媒抽出法のハイブリッド再処理法」

(株)日立製作所 原子力事業本部企画本部 本部長付 河村 文雄

「名大環境量子リサイクル研究センターの目指すもの」

名古屋大学 環境量子リサイクル研究センター教授 榎田 洋一

(2) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第37回 平成13年5月22日(金)

参加者 22名

場 所 中部電力(株)本店2-1、2-2会議室

講 演 「Recent Developments in Germany on Hydrogen

as a Future Energy Carrier」

Research Center Juelich, Dr. Karl Verfondern
「21 世紀の国際深海掘削科学計画について」
海洋科学技術センター 特別参事 山川 稔
「新指導要領および教科書における原子力の扱いについて」
(学) 東海学園高等学校教諭 小林 夕也

第 38 回 平成 13 年 7 月 6 日 (金) ~7 日 (土)

参加者 8 名
見学会 沖縄電力 (株) 具志川火力発電所
電源開発 (株) 沖縄海水揚水実証試験所

第 39 回平成 14 年 2 月 8 日 (金)

参加者 14 名
場 所 富士電機本社
講 演 「革新的小型原子炉システム」
東京工業大学 教授 加藤 恭義
「温暖化防止国際会議 (COP) の動向」
(財) 電力中央研究所 上席研究員 朝倉 一雄
「女性の心を捉える原子力広報-WIN-Japan のユニークな試み」
WIN-Japan 会長 (日本原電広報室広報主幹) 小川 順子

平成 14 年度

・シンポジウム

(1) Topical Symposium on Hydrogen Isotope Behavior in Solids

(名古屋大学工学研究科原子核工学教室, 名古屋大学工学研究科原子核工学教室海外研究者招聘事業会, 日本原子力学会中部支部共催)

期 日 平成 14 年 6 月 3 日 (月)

場 所 グリーンサロン東山, ミーティングルーム

参加者 25 名

演 題 「Tritium in the vessel walls of high performance D/D discharges」

Dr. Rainer Behrisch (Max-Planck-Institute for Plasmaphysik, Garching)

「Deuterium retention in plasma facing materials」

Dr. V. Kh. Alimov

(Institute of Physical Chemistry, Russian Academy of Sciences, Moscow)

「Retention of hydrogen isotopes in tungsten」

Dr. Igor. I. Arkhipov

(Institute of Physical Chemistry, Russian Academy of Sciences, Moscow)

「Influence of the thin oxide and carbon layers on deuterium retention in tungsten」

Dr. Olga. Ogorodnikova (Max-Planck-Institute for Plasma-physik, Garching/
Moscow State Engineering Physics Institute, Plasma Physics Department)

(2) 「先端科学と原子力」シンポジウム

(「先端科学と原子力技術」研究専門委員会主催, (社) 火力原子力発電技術協会共催)

期 日 平成 14 年 8 月 23 日 (金)

場 所 東桜会館第 1 会議室

参加者 71 名

演 題 「核融合科学研究所の最近の成果と核融合への道のり」

核融合科学研究所 教授 琴藤 滋

「エネルギー需要動向と日本の選択」

(株) 三井物産戦略研究所 所長 寺島 実朗

「放射線ホルミシス～最近の結果について」

(財) 電力中央研究所低線量放射線研究センター副所長 参事 石田 健二

「放射性物質の地球環境動態」

名古屋大学工学研究科原子核工学専攻 助教授 山澤 弘実

(3) 原子力エネルギーシステムシンポジウム～今こそ日本の原子力を考えよう

(原子力エネルギーシステム研究委員会主催, (社) 火力原子力発電技術協会共催)

期 日 平成 14 年 11 月 22 日 (金)

場 所 東桜会館第 1 会議室

参加者 63 名

演 題 「電力自由化と米国原子力産業の展望」

(社) 海外電力調査会調査部副主任研究員 後藤 英昭

「福井県における原子力～安全と信頼確保への取組み」

福井県県民生活部原子力安全対策課 課長 来馬 克美

「革新炉の動向および展望」

(財) エネルギー総合研究所プロジェクト試験部 部長 松井 一秋

「危機管理広報およびマスメディア対応について」

田中危機管理・広報事務所 所長 田中 正博

・研究会

(1) 「先端科学と原子力技術」研究専門委員会

期 日 平成 14 年 5 月 21 日 (火)

場 所 東桜会館第2会議室

参加者 24名

演 題 「高効率エネルギー変換を目指して」

高効率エネルギー変換研究センター設立と目的：教授 北川 邦行

ケミカルガスタービン開発：助手 古畑 朋彦

熱電発電開発：助教授 伊藤 孝至 氏

「カラーシンチレーターによるX線透視撮影」

(株) 東芝電力産業・システム技術センター

機器システム開発部 主査 日塔 光一

「電力自由化の動向について」

(財) 電力中央研究所狛江研究所研究コーディネーター

上席研究員 谷口 治人

「革新的中小型炉の検討状況について」

日本原子力発電(株) 研究開発室 将来炉技術G 主席研究員 管野 実

「浜岡原子力発電所1号機について」

中部電力(株) 原子力管理部業務G 課長 渡邊 泰臣

(2) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第40回 平成14年5月31日(金)

場 所 中部電力(株) 本店2-1、2-2会議室

参加者 28名

演 題 「原子力利用による水素生産」

原子力システム研究懇話会 堀 雅夫

「米国における原子力発電の開発状況」

日本原子力産業会議情報・調査部

内外動向調査グループリーダー 窪田 秀雄

「革新的中小型炉の検討状況について」

日本原子力発電(株) 研究開発室将来炉技術G

主席研究員 山本 一彦

「浜岡原子力発電所の状況について」

中部電力(株) 原子力管理部業務G 課長 渡邊 泰臣

第41回 平成15年1月30日(金)

場 所 大崎ゲートシティ

参加者 22名

演 題 「社会から見た原子力～価値観変化と情報ギャップの視点から」

電力中央研究所 主任研究員 土屋 智子
「放射性廃棄物の回収可能性」

電力中央研究所 主任研究員 長野 浩司
「長期エネルギー需要と原子力」

日本原子力研究所エネルギーシステム研究部
システム評価研究グループリーダー 佐藤 治

平成15年度

・シンポジウム

(1) 「先端科学と原子力」シンポジウム

((社) 火力原子力発電技術協会中部支部共催)

期 日 平成15年8月22日(金)

場 所 東桜会館 第2会議室

参加者 61名

演 題 「我が国の原子力の現状とその将来—今何をなさねばならないか」

名古屋大学名誉教授, 前原子力安全委員会委員長代理 内藤 奎爾
「人工衛星打ち上げ用ロケットの品質保証について」

元三菱重工業(株)特別顧問 小早川 真也
「金融工学の広がりと原子力とのいくつかの接点」

(株)日立製作所 日立研究所 I T応用研究センタ 情報制御第六研究部
金融工学ユニット 主管研究員 小林 康弘

「ベクトル画像処理による不鮮明領域検出手法とその応用」

(株)東芝 電力・社会システム社 電力・産業システム技術開発センター
計測・検査技術開発部 主幹 久保 克巳

(2) 原子力エネルギーシステムシンポジウム

期 日 平成15年11月28日(金)

場 所 東桜会館 第2会議室

参加者 55名

演 題 「原子力の安心の砦“原子力緊急時支援・研修センター”の整備と活動」

核燃料サイクル開発機構 原子力緊急時支援・研修センター長 野村 保
「環境リスクコミュニケーションの実状」

東京大学生産技術研究所 教授 安井 至
「『常陽から』始まる高速炉時代の新しい風」

核燃料サイクル開発機構 大洗工学センター実験炉部長 鈴木 惣十
「米国原子力カルネッサンスの現実と日本への教訓」

株式会社 アイ・イー・エー・ジャパン代表取締役社長 西堂 紀一郎

・研究会

(1) 「先端科学と原子力技術」研究専門委員会

期 日 平成 15 年 6 月 6 日 (金)

場 所 若竹クラブ

内 容 「原子力プラント内遠隔点検ロボット MHI MARS-i について」

三菱重工株式会社 神戸造船所機器・環境プラント部

メカトロ設計課 磯崎 芳史

「軽水炉の維持基準と配管欠損評価について」

財団法人 電力中央研究所 狛江研究所金属材料部部长 鹿島 光一

「もんじゅ判決について」

核燃料サイクル開発機構東京事務所長・訴訟対策本部補佐 森 久起

(2) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第 42 回研究委員会

期 日 平成 15 年 5 月 30 日 (金)

場 所 東桜会館第 2 会議室

参加者 19 名

内 容 「科学技術の公共性と一般への認知について」

南山大学人文学部人類文化学科 教授 小林 傳司

「もんじゅ判決について」

核燃料サイクル開発機構東京事務所長・訴訟対策本部補佐 森 久起

「原子力人材育成について」

社団法人 日本原子力産業会議計画推進本部マネージャー 三浦 研造

第 43 回研究委員会 (施設見学会)

期 日 平成 15 年 7 月 25 日 (金)

場 所 浜松ホトニクス(株)豊岡工場見学

参加者 12 名

第 44 回研究委員会

期 日 平成 16 年 1 月 30 日 (金)

場 所 大崎ゲートシティー

参加者 20 名

内 容 「メタンハイドレートについて」

東京大学海洋研究所 教授 徳山 英一
「原子力の耐震設計に関わる活断層研究の現状」
財団法人 電力中央研究所 研究参事 井上 大榮
「核燃料サイクルバックエンド問題の論点」
東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 山地 憲治

平成16年度

・シンポジウム

(1) 「先端科学と原子力」シンポジウム

社団法人火力原子力発電技術協会中部支部共催の元，社団法人日本原子力学会「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成16年8月20日（金）

場 所 東桜会館1階集会室

内 容 「名大エコトピア科学研究機構の目指すもの」

名古屋大学エコトピア科学研究機構長 松井 恒雄

「原子力科学の新展開」一名古屋大学 COE 構想一

名古屋大学エコトピア科学研究機構 教授 長崎 正雅

「FBR サイクルの実用化戦略調査研究，フェーズ2の中間とりまとめ」

核燃料サイクル開発機構 経営企画本部 FBR 開発推進部

企画・調整グループリーダー 大野 勝己

炉システムグループリーダー 小竹 庄司

「高温ガス炉を利用する水素製造」

日本原子力研究所 大洗研究所長 塩沢 周策

「東大の新大学院構想」

東京大学原子力研究総合センター教授 班目 春樹

参加者 49名

(2) 原子力エネルギーシステムシンポジウム

社団法人火力原子力発電技術協会中部支部共催の元，当支部傘下の原子力エネルギーシステム研究委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成16年11月19日（金）

場 所 東桜会館1階集会室

内 容 「原子力における保全体系化をどのように進めてきたか」

東京大学名誉教授，日本保全学会会長 宮 健三

「エネルギー国家戦略と原子力：日本の選択」

エネルギー戦略研究会会長，外交評論家 金子 熊夫

「日本における長期エネルギー政策と核燃料サイクル」

大阪大学大学院経済学研究科 教授 伴 金美

「高速増殖炉による水素製造」

核燃料サイクル開発機構 大洗工学センター要素技術開発部

新材料研究グループリーダー 青砥 紀身

参加者 51名

・研究会

(1) 「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会

期 日 平成17年3月4日(金)

場 所 中部電力若竹クラブ

内 容 「対人地雷探知における先進放射線計測応用」

名古屋大学工学研究科量子工学専攻 教授 井口 哲夫

「バイオマスからの水素生成と新燃料ジメチルエーテル(DME)」

名古屋大学エコトピア科学研究機構 教授 北川 邦行

客員教授 中川 二彦

「身体運動のモデリングに基づく支援機器の設計」

名古屋大学エコトピア科学研究機構 教授 大日方 五郎

「覚醒水準を指標とした効果的な休憩法に関する実験研究」

財団法人 電力中央研究所主任研究員 主任研究員 廣瀬 文子

参加者 23名

(2) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第45回研究委員会

期 日 平成16年5月28日(金)

場 所 東桜会館集会室

内 容 「高校生への原子力教育の実践と課題」

財団法人 日本原子力文化振興財団 掛布 智久

「次世代軽水炉と小型炉開発」

三菱重工株式会社 原子力事業本部 原子力技術センター原子力技術部

部長代理 金川 孝

「中小型炉と原子力海水淡水化」

社団法人 日本原子力産業会議 政策企画本部 調査役 小西 俊雄

参加者 22名

第46回研究委員会

期 日 平成 17 年 1 月 21 日 (金) 13:10~17:10

場 所 ゲートシティ大崎イーストタワー23 階

富士電機ホールディングス (株) 第 3 ホール

参加者 21 名

内 容 「強い核拡散抵抗性を有するプルトニウムを生成する

革新的原子炉技術開発 (P3 計画)」

東京工業大学原子炉工学研究所 助教授 齊藤 正樹

「ウラン試験計画や社会受容性の向上に向けた取り組み」

日本原燃株式会社 再処理事業部再処理計画部

計画グループリーダー 中村 裕行

「中国におけるエネルギー事情および原子力プラント輸出について」

社団法人 日本原子力産業会議アジア協力センター 調査役 永崎 隆雄

平成 17 年度

・シンポジウム

(1) 「先端科学と原子力」シンポジウム

社団法人火力原子力発電技術協会中部支部共催の元、社団法人日本原子力学会「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成 17 年 8 月 31 日 (水)

場 所 東桜会館

内 容 「クルマにおけるユニバーサルデザインの取り組みについて」

トヨタ自動車株式会社第一車両技術部 主査 金森 等

「金属の環境中動態における鉱物と微生物の役割」

日本原子力研究所 主任研究員 大貫 敏彦

「水素エネルギーシステム実現に向けて」

エネルギー総合工学研究所 研究顧問 福田 健三

「原子力水素製造への取り組み」

株式会社東芝 電力・社会システム社

原子力事業部原子力開発設計部新型炉システム技術 主査 福家 賢

電力・社会システム技術開発センター 化学システム開発部

原子力化学プロセス技術主幹 山田和矢

「放射線の医療への応用」

株式会社日立製作所

電力・電機開発研究所粒子線治療システムプロジェクト

チーフプロジェクトリーダー 平本 和夫

日立事業所粒子線応用医療システム設計部 主任技師 関 博文

参加者 64名

(2) 原子力エネルギーシステムシンポジウム

社団法人火力原子力発電技術協会中部支部共催の元、当支部傘下の原子力エネルギーシステム研究委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成17年11月18日(金)

場 所 東桜会館

内 容 「異常気象に学ぶ地球温暖化」

環境創造研究センター 専務理事 児玉 剛則

「高温ガス炉の特徴と開発の歴史」

東京電力株式会社原子力技術・品質安全部

将来構想グループ副長 桜木洋一

「世界の高温ガス炉開発の状況」

日本原子力発電株式会社 研究開発室 主席研究員 土江 保男

「わが国の高温ガス炉の将来社会への貢献」

日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究部門

核熱応用工学ユニット長 小川 益郎

「日本原子力研究開発機構の取り組み」

日本原子力研究開発機構 理事 中島 一郎

参加者 72名

・研究会

(1) 「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会

期 日 平成18年3月6日(金)

場 所 中部電力株式会社若竹クラブ

内 容 「航空分野におけるヒューマンエラー対策」

日本ヒューマンファクター研究所研究開発室 室長 石橋 明

「生物から炉物理へ、炉物理から生物へ」

名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻 助教授 山本章夫

「フェムト秒レーザー技術の加工分野への応用」

レーザー技術総合研究所レーザー加工計測研究チーム

主任研究員 藤田 雅之

「レーザー分光を用いた同位体計測法」

名古屋大学核燃料管理施設 助手 渡辺賢一

参加者 31名

(2) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第 47 回研究委員会

期 日 平成 17 年 5 月 13 日 (金)

場 所 名古屋金谷ホテル

内 容 「原子力損害賠償制度の現状と課題」

日本原子力発電株式会社 参与 下山俊次

「バイオマス発電技術の現状と課題について」

財団法人電力中央研究所 エネルギー技術研究所

主任研究員 木戸口 和浩

「マインド・コントロールによるテロリズムの危機」

静岡県立大学一看護学部看護科 助教授 西田 公昭

参加者 22 名

第 48 回研究委員会

期 日 平成 18 年 2 月 3 日 (金)

場 所 ゲートシティ大崎ウェストタワー

内 容 「高速増殖炉サイクルの実用化戦略調査研究

フェーズⅡ最終取りまとめの検討状況」

日本原子力研究開発機構次世代原子力システム研究開発部門

FBR システムユニット長 山下 英俊

「水素エネルギーシステムの実現に向けて」

エネルギー総合工学研究所 プロジェクト試験研究部

プロジェクトリーダー坂田 興

「4 S 炉の現状」

電力中央研究所 原子力技術研究所 新型炉領域 上席研究員 湊 章男

参加者 16 名

平成 18 年度

・シンポジウム

(1) 「先端技術と原子力」シンポジウム

日本原子力学会中部支部主催、火力原子力発電技術協会中部支部共催のもと、「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成 18 年 8 月 29 日 (火)

場 所 東桜会館

内 容 「高エネルギー放射線有効利用のための新技術開発」

名古屋大学大学院工学研究科 マテリアル理工学専攻

助教授 吉田 朋子

「マイクロ化学チップテクノロジーと原子力」

名古屋大学大学院工学研究科 化学・生物工学専攻

助教授 渡慶次 学

「21世紀の地層処分研究開発：技術的知識基盤の構築」

日本原子力研究開発機構 地層処分研究開発部門

知識化グループ サブリーダー 大澤 英昭

「バイオ技術を用いたトリチウム除去法」

日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門

トリチウム工学研究グループ 主任研究員 林 巧

「発電用新型炉の高温構造設計手法と3次元免震技術の開発」

日本原子力研究開発機構 次世代原子力システム研究開発部門

構造信頼性工学グループ グループリーダー 笠原 直人

「原子力施設の安全確保と「安全の文化」」

名古屋大学 名誉教授 内藤 奎爾

参加者 40名

(2) 原子力エネルギーシステムシンポジウム

火力原子力発電技術協会中部支部共催のもと、当支部原子力エネルギーシステム研究委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成18年11月20日（月）

場 所 東桜会館

内 容 「2050年までのエネルギーシナリオを考える上でのポイント」

電力中央研究所 原子力研究所 上席特別研究員 天野 治

「GNEPの概要と日本の対応について」

日本原子力研究開発機構 次世代原子力システム部門

研究開発推進室 室長代理 中井 良大

「商業用原子力発電所の廃止措置」

日本原子力発電株式会社 廃止措置プロジェクト推進室

廃止措置保安グループマネージャー 田口 修一郎

「リスクをめぐる空騒ぎ」

東京大学 生産技術研究所 教授 渡辺 正

参加者 90名

(3) 名古屋大学若手研究者による原子力研究シンポジウム

「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会、名古屋大学大学院工学研究科

量子エネルギー工学教室、同教室海外招聘事業会の共催により、シンポジウムを開催した。

期 日 平成 19 年 1 月 19 日 (金)

場 所 東桜会館

内 容 「Super-DIREX 再処理法による

使用済燃料からの U, Pu 直接抽出に関する技術開発」

榎田洋一 (名大・エコトピア)

「エルビア入り次世代高燃焼度燃料に関する技術開発」

山本章夫 (名大・工)

「計算科学的手法を駆使した高精度・シームレス物理シミュレータの開発

－高速炉ガス巻き込み評価を対象として－」

山本義暢 (名大・工)

「液化ガスを媒体とする使用済燃料からのアクチニド抽出法の開発」

澤田佳代 (名大・工)

「材料表面劣化計測技術を用いた耐腐食性高強度材料の研究開発」

柚原淳司 (名大・工)

「放射性廃棄物エネルギー有効利用のための新技術開発」

吉田朋子 (名大・工)

「TRU 燃焼のための合金燃料設計と製造の基盤技術の開発

－現在の技術動向と問題点について－」

有田裕二 (名大・エコトピア)

「大学・大学院への期待」

河原 暲 (日本原子力学会副会長・日立製作所技師長)

「大学・大学院への期待」

森 久起 (日本原子力研究開発機構 執行役・核燃料サイクル開発部門長)

参加者 53 名

・研究会

(1) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第 49 回研究委員会

期 日 平成 18 年 6 月 2 日 (金)

場 所 中部電力株式会社 若竹クラブ

内 容 「最近の米国の原子力動向」

海外電力調査会 調査部 木村 悦康

「放射性物質と微生物 － 137-¹³⁷CS を中心として－」

独立行政法人 国立環境研究所 水圏環境研究領域

水環境質研究室 富岡 典子

「相互理解の舞台づくり」

富士常葉大学 環境防災学部 教授 帆足 養右

参加者 18名

第50回研究委員会’

期 日 平成19年2月2日(金)

場 所 ゲートシティ大崎イーストタワー

内 容 「原子力プラントの炉内保全技術」

(株)東芝電力システム社原子炉機器設計部容器・構造設計担当

主査 依田 正樹

「MOX燃料工場(J-MOX)の事業計画」

日本原燃(株)燃料製造部 部長 出口 守一

「核融合研究開発の現状と今後の展開」

(独)日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門

核融合エネルギー工学研究開発ユニット 研究主席 西谷 健夫

参加者 24名

平成19年度

・シンポジウム

(1)「先端技術と原子力」シンポジウム

日本原子力学会中部支部主催、火力原子力発電技術協会中部支部共催のもと「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成19年8月23日(木)

場 所 東桜会館

内 容 「放射線安全研究センターの設置

－合理的な放射線防護体系の構築に向けて－」

電力中央研究所 放射線安全研究センター長 石田 健二

「低線量放射線による突然変異頻度の減少」

電力中央研究所 上席特別契約研究員 小穴 孝夫

「J-PARCプロジェクトの概要－進捗状況－」

日本原子力研究開発機構 高エネルギー加速器研究機構

J-PARCセンター 副センター長 大山 幸夫

「中性子を用いた対人地雷探知技術の現状と展望」

名古屋大学大学院工学研究科 量子工学専攻 教授 井口 哲夫

「放射線ガン治療装置の開発現状」

医用原子力技術研究振興財団 主席研究員 曾我 文宣

参加者 45名

(2) 原子力エネルギーシステムシンポジウム

火力原子力発電技術協会中部支部共催のもと、当支部原子力エネルギーシステム研究委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成19年11月9日(金)

場 所 東桜会館

内 容 「環境、経済、エネルギーの持続的発展のための原子力の役割」

(財) エネルギー総合工学研究所 理事 松井 一秋

「FBR 実用化への三菱の取組み」

三菱FBRシステムズ株式会社 企画・プロジェクト部
部長代理 小林 茂樹

「アクティブ試験の状況について」

日本原燃株式会社理事 再処理工場技術部長 青柳 春樹

「茨城県東海地区における「リスクコミュニケーション」の研究と実践」

(独) 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター

核燃料サイクル工学研究所リスクコミュニケーション室主査 菖蒲 信博

参加者 56人

・研究会

(1) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第51回研究委員会

期 日 平成19年5月21日(月)

場 所 東桜会館

内 容 「高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する

主要国の現状および我が国の研究開発状況」

日本原子力研究開発機構 副部門長 石川 博久

「定置型燃料電池の開発の現状と今後の見通し」

富士電機アドバンステクノロジー(株) 担当部長 岡 嘉弘

「一般市民と原子力専門家・電力社員の違い」

電力中央研究所 上席研究員 土屋 智子

参加者 25名

第52回研究委員会

期 日 平成20年2月4日

場 所 ゲートシティ大崎イーストタワー

内 容 「ITERを中心とした核融合研究の現状と今後の課題」

電力中央研究所 上席研究員 岡野 邦彦

「海水からのウラン、温泉からのスカンジウム

-日本では産出しない金属資源を求めて-

日本原子力研究開発機構 グループリーダー 玉田 正男

「信頼は何によって導かれるか」

帝塚山大学 心理福祉学部 教授 中谷内 一也

参加者 18名

(2) 「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会

期 日 平成20年1月18日

場 所 中部電力(株)若竹クラブ

内 容 「テラヘルツ光源の開発とその応用」

名古屋大学エコトピア科学研究所 教授 川瀬 晃道

「京都大学原子炉実験所における原子力利用研究」

京都大学原子炉実験所 教授 三島 嘉一郎

「フッ化技術を用いた次世代再処理法「FLUOREX法」の開発状況」

日立GEニュークリア・エナジー株式会社 河村 文雄

「地球温暖化問題解決に向けた課題とその対応」

三菱総合研究所 青柳 雅

参加者 47名

平成20年度

・シンポジウム

(1) 「先端技術と原子力」シンポジウム

日本原子力学会中部支部主催、火力原子力発電技術協会中部支部共催のもと、「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会のシンポジウムを開催した。

期 日 平成20年8月22日(火)

場 所 東桜会館

内 容 「地球環境問題への対応と原子力の果たす役割」

中部電力(株)原子力部サイクル企画グループ長 吉田 信之

「世界標準を獲得し得る次世代軽水炉の技術開発」

(財)エネ総研 次世代軽水炉開発グループ 部長 笠井 滋

「原子燃料サイクル開発の我が国の現状と海外の状況」

(財)電力中央研究所 首席研究員 井上 正

「ヒートポンプ技術の現状と将来」

名古屋大学 エコトピア科学研究所 准教授 小林 敬幸

「国産航空機開発の現状と課題」

三菱航空機株式会社 代表取締役社長 戸田 信雄

参加者 69名

(2) 原子力エネルギーシステムシンポジウム

火力原子力発電技術協会中部支部共催のもと、当支部原子力エネルギーシステム研究委員会のシンポジウムを開催した

期 日 平成20年11月10日（月）

場 所 東桜会館

内 容 「欧州の原子力動向」

(社) 海外電力調査会 企画部 主席研究員 東海邦博

「東芝における原子力技術開発の取組」

株式会社東芝 原子力技術部 主幹 尾崎 章

「高温ガス炉を用いた水素製造」

(独) 日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学研究部門

研究主席 國富 一彦

「原子力メリット情報の効果的な伝達方法および影響」

原子力安全システム研究所 社会システム研究所

主任研究員 大磯眞一

参加者 65名

・研究会

(1) 原子力エネルギーシステム研究委員会

第53回研究委員会

期 日 平成20年6月6日（金）

場 所 若竹クラブ

内 容 「我が国の原子力技術開発と海外展開について」

三菱重工業株式会社 原子力事業本部

原子力技術センター 原子力技術部 部長 鈴木 成光

「我が国電気事業のCO2排出量の検討：削減技術の評価と課題の探索」

(財) 電力中央研究所 社会経済研究所 上席研究員 永田 豊

「貴金属の新鉱脈としての核燃料サイクル

—その分離・利用技術開発戦略—」

(独) 日本原子力研究開発機構 主任研究員・研究主幹 小澤 正基

参加者 18名

第54回研究委員会

期 日 平成21年2月2日(月)

場 所 ゲートシティ大崎 イーストタワー13階

内 容 「巨大トリウムエネルギー産業の早期世界展開」

トリウム熔融塩国際フォーラム代表 古川和男

「原子力用大型一体鍛鋼品の開発と今後－室蘭から世界へ－」

日本製鋼所 室蘭製作所 原子力製品部 中村 毅

「原子力発電に対する立地地域住民の意識と態度」

電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員 小杉素子

参加者 24名

(2) 「先端エネルギー科学と原子力技術」研究専門委員会

期 日 平成21年1月29日(木)

場 所 東桜会館

内 容 「ロボット技術開発の将来展望」

名古屋大学エコトピア科学研究所 教授 大日方 五郎

「GE-Hitachi 原子力技術」

GE日立・ニュークリアインターナショナル・エルエルシ

統括事業本部長 田中 淳二

「高速増殖炉開発実用化研究開発プロジェクトにおける

炉システム研究開発の現状」

(独) 日本原子力研究開発機構 次世代原子力システム研究開発部門

設計統括ユニット FBR設計グループ 研究主席 大野裕司

「地層処分技術の活用に向けて－知識マネジメントシステムの開発－」

(独) 日本原子力研究開発機構 地層処分研究開発部門

知識化グループ サブリーダー 大澤英昭

参加者 48名

7. 原子力オープンスクール

平成11年度

日 時 平成11年8月1日(日)

場 所 でんきの科学館

参加者 1,064名

デモンストラーションおよびパネル展示

- (1) ちからと不思議体験コーナー（参加型の展示）
 - ・放射線の飛行機雲を見てみよう！（霧箱）
 - ・きみのすぐそばにラドンがいる！（空気中のラドン、トロンの計測）
 - ・放射線を一番通さないものは何？（しゃへい実験）
 - ・きみの原子炉はうまく動くかな？（パソコンによる臨界シミュレーション）
 - ・浮いている！超伝導は力持ち？（超伝導磁石実験）
 - ・電子レンジで作るプラズマって？（高周波加熱によるプラズマ実験）
- (2) ちからと不思議学習コーナー（説明型の展示）
 - ・放射能はこんなところにもある！（身近な放射線）
 - ・大むかし天然の原子炉があった！（天然原子炉）
 - ・核分裂と核融合、どこがちがうの？（核分裂と核融合の原理）
 - ・マルチメディアで学ぼう原子力！（パソコンゲームによる原子力解説）
 - ・原子力発電のしくみ早わかり！（模型による原子力発電の解説）
 - ・原子燃料サイクルって何だろう？（模型による燃料サイクルの解説）

平成12年度

日 時 平成12年8月6日（日）

場 所 でんきの科学館

参加者 1063名

デモンストレーションおよびパネル展示

- (1) ちからと不思議体験コーナー（参加型の展示）
 - ・放射線の飛行機雲を見てみよう！（霧箱）
 - ・きみのすぐそばにラドンがいる！（空気中のラドン、トロンの計測）
 - ・放射線を一番通さないものは何？（しゃへい実験）
 - ・きみの原子炉はうまく動くかな？（パソコンによる臨界シミュレーション）
 - ・浮いている！超伝導は力持ち？（超伝導磁石実験）
- (2) ちからと不思議学習コーナー（説明型の展示）
 - ・放射能はこんなところにもある！（身近な放射線）
 - ・大むかし天然の原子炉があった！（天然原子炉）
 - ・核分裂と核融合、どこがちがうの？（核分裂と核融合の原理）
 - ・マルチメディアで学ぼう原子力！（パソコンゲームによる原子力解説）
 - ・原子力発電のしくみ早わかり！（模型による原子力発電の解説）
 - ・原子燃料サイクルって何だろう？（模型による燃料サイクルの解説）

平成13年度

日 時 平成13年8月5日（日）

場 所 でんきの科学館（電気文化会館内）3～4 階フロア

参加者 646 名

デモンストレーション展示およびパネル展示、相談コーナー開設

体験学習コーナー：

霧箱実験、高温超伝導、プラズマ実験、環境放射能、遮蔽実験、

パソコンによる原子炉シミュレーション

パネル展示：

「大昔天然の原子炉があった」、「核分裂と核融合どこが違うの」、

「放射能はこんなところにもあった、臨界ってなあに」

平成14年度

期 日 平成14年8月4日（日）

場 所 でんきの科学館（電気文化会館内）3 階

参加者 948 名

内 容 プラズマ，超伝導，臨界シミュレーション，霧箱，放射線計測等，体験型展示
およびパネル展示を実施

平成15年度

期 日 平成15年8月3日（日）

場 所 でんきの科学館（電気文化会館内）3 階

参加者 950 名（ただしアンケート回答者数）

内 容 プラズマ，超伝導，臨界シミュレーション，霧箱，放射線計測等，
体験型展示およびパネル展示を実施

平成16年度

期 日 平成16年8月1日（日）

場 所 でんきの科学館（電気文化会館内）3 階

内 容 プラズマ，超伝導，臨界シミュレーション，霧箱，放射線計測等，体験型展示
およびパネル展示を実施。

参加者 1,300 人以上（アンケートの回収 537 名）

平成17年度

期 日 平成17年8月7日（日）

場 所 でんきの科学館

内 容 プラズマ，超伝導，臨界シミュレーション，霧箱，放射線計測等，
体験型展示およびパネル展示を実施。

参加者 約 1, 990 名

平成 1 8 年度

期 日 平成 18 年 7 月 30 日 (日)

場 所 でんきの科学館 (電気文化会館内)

内 容 プラズマ、超伝導、臨界シミュレーション、霧箱、放射線計測等、
体験型展示およびパネル展示を実施。

参加者 約 1, 950 名

平成 1 9 年度

期 日 平成 19 年 7 月 29 日 (日)

場 所 でんきの科学館 (電気文化会館内)

内 容 プラズマ、超伝導、臨界シミュレーション、霧箱、放射線計測、静電気、
流体、二酸化炭素吸収実験等、体験型展示およびパネル展示を実施。

参加者 約 1, 170 名

平成 2 0 年度

期 日 平成 20 年 8 月 10 日 (日)

場 所 でんきの科学館 (電気文化会館内)

内 容 プラズマ、超伝導、臨界シミュレーション、霧箱、放射線計測、静電気、
流体、二酸化炭素吸収実験等、体験型展示およびパネル展示を実施。

参加者 1, 536 人

8. その他

平成 1 4 年度

- ・ 2003 年秋の大会 (静岡) 第 1 回準備委員会

期 日 平成 14 年 9 月 6 日

(第 101 回常任幹事会にて実施。以降、幹事会を通じて準備を実施)

平成 1 5 年度

- ・ 2003 年秋の大会 (静岡) 現地委員会

第 1 回 現地委員会

期 日 平成 15 年 5 月 23 日

- ・ 日本原子力学会 2003 年秋の大会

期 日 平成 15 年 9 月 24 日～26 日
場 所 静岡大学静岡キャンパス
内 容 特別講演（浜松ホトニクス㈱社長 晝馬輝夫氏）およびバンケット，2 日目の
テクニカルツアー（浜松ホトニクス㈱豊岡工場および浜岡原子力建設所 ABWR
の見学），および 3 日目のテクニカルツアー（㈱タミヤ工場見学）を企画する
と共に，開催準備ならびに会場管理を担当。

平成 18 年度

・ 2007 年春の年会（名古屋）現地委員会

期 日 平成 18 年 9 月 25 日（月）
場 所 名古屋大学
出席者 22 名

・ 日本原子力学会 2007 年春の年会

期 日 平成 19 年 3 月 27 日～29 日
場 所 名古屋大学（東山地区）
内 容 大会初日の特別講演と懇親会、3 日目の見学会を企画する共に、
開催準備ならびに会場管理を担当。

特別講演「中部国際空港（セントレア）の運用と安全」

中部国際空港（株）執行役員運用管理部長 荒尾和史

見学会 大学共同利用法人自然科学研究機構核融合科学研究所および

（独）日本原子力研究開発機構瑞浪超深地層研究所

平成 20 年度

・ 中部支部奨励賞

支部奨励賞を設立し、支部研究発表会時に、下記 3 名に授与した。

期 日 平成 20 年 12 月 10 日

場 所 名古屋大学

内 容 「勾配－色情報変換法を用いた垂直水噴流界面の測定」

名古屋大学大学院工学研究科

牛丸 裕之

「修正中性子源増倍法の予測精度の検証」

名古屋大学大学院工学研究科

菅原 慶

「密度界面の運動に伴うストリーミングの発生機構」

名古屋大学大学院工学研究科

野村 治宏

役員

中部支部規約第7条に従い、支部長1名、幹事若干名、監査2名の役員をおき、支部活動を行っている。以下に、至近10年間（平成11年度から平成20年度）の役員名簿を掲げる。

また、中部支部規約第10条（旧9条）に基づいて顧問として推薦された方々のお名前を、最後に顧問名簿としてまとめておく。

平成11年度

支部長	青木 輝行	中部電力（株）常務取締役
幹 事	*岩崎 誠	中部電力（株）原子力管理部 放射線安全グループ課長
	榎田 洋一	名古屋大学大学院工学研究科 助教授
	*奥野 健二	静岡大学 教授 理学部附属放射化学研究施設
	亀頭 直樹	豊橋技術科学大学 教授
	*河野 孝央	核融合科学研究所 安全管理センター 助手
	*倉橋 隆文	日本ガイシ（株）エンジニアリング事業部開発部 第2プラント開発課長
	小村 和久	金沢大学理学部教授
	*中村 光一	名古屋工業大学 システムマネジメントエ学科 教授
	成瀬 吉信	中部電力（株）電力技術研究所 原子力Gリーダー
	西 一	北陸電力（株）原子力部 副部長
監 査	*武藤 駿介	名古屋大学理工科学総合研究センター 助教授
	*山本 一良	名古屋大学大学院工学研究科 教授
	山本 匡吾	（株）豊田中央研究所放射線応用研究室 室長
	湯佐 泰久	核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター 主席
	*岡部 博行	（財）中部科学技術センター専務理事
	川本 淳一	中日本自動車短期大学講師

*印は平成11年度・12年度役員

平成12年度

支部長	青木 輝行	中部電力（株）代表取締役副社長
幹 事	岩崎 誠	中部電力（株）原子力管理部放射線 安全グループ課長

*瓜谷 章	名古屋大学大学院工学研究科 助教授
奥野 健二	静岡大学 理学部附属放射化学研究施設
河野 孝央	核融合科学研究所 安全管理センター 助手
倉橋 隆文	日本ガイシ (株) エンジニアリング事業部開発部
	第2プラント開発課長
中村 光一	名古屋工業大学 システムマネジメント工学科 教授
*成瀬 吉信	中部電力 (株) 電力技術研究所原子力Tリーダー
*西 一	北陸電力 (株) 原子力部 副部長
*藤井富美子	名古屋女子大学 教授
*三田地紘史	豊橋技術科学大学 教授
武藤 俊介	名古屋大学理工科学総合研究センター 助教授
山本 一良	名古屋大学大学院工学研究科 教授
*山本 匡吾	(株) 豊田中央研究所放射線応用研究室 室長
*山本 政儀	金沢大学理学部 附属低レベル放射能実験施設 助教授
*湯佐 泰久	核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター 研究主席
監査 岡部 博行	(財) 中部科学技術センター 専務理事
*川本 淳一	中日本自動車短期大学講師

*印は平成12年度・13年度役員

平成13年度

支部長	*山本 一良	名古屋大学大学院工学研究科 教授
幹事	*有田 裕二	名古屋大学大学院工学研究科 助教授
	*井口 哲夫	名古屋大学大学院工学研究科 教授
	*鵜飼 裕之	名古屋工業大学工学部システムマネジメント工学科 助教授
	*奥野 健二	静岡大学 理学部附属放射化学研究施設教授
	*河野 孝央	核融合科学研究所 安全管理センター 助手
	*倉橋 隆文	日本ガイシ (株) エンジニアリング事業部開発部
		第2プラント開発課長
	*辻 義之	名古屋大学大学院工学研究科 助教授
	成瀬 吉信	中部電力 (株) 原子力管理部 企画G 課長
	西 一	北陸電力 (株) 原子力部 副部長
	*西川 覚	中部電力 (株) 電力技術研究所原子力Tリーダー
	藤井富美子	名古屋女子大学 教授
	三田地紘史	豊橋技術科学大学 教授

	山本 匡吾	(株) 豊田中央研究所放射線応用研究室 室長
	山本 政儀	金沢大学理学部 附属低レベル放射能実験施設 助教授
	湯佐 泰久	核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター 研究主席
監 査	*岡部 博行	(財) 中部科学技術センター 専務理事
	川本 淳一	中日本自動車短期大学講師

*印は新役員 (13 年度・14 年度役員)
**印は新役員 (13 年度)

平成 14 年度

支部長	山本 一良	名古屋大学大学院工学研究科 教授
幹 事	井口 哲夫	名古屋大学大学院工学研究科 教授
	鵜飼 裕之	名古屋工業大学工学部システムマネジメント工学科 助教授
	*大澤 英昭	核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター 副主任研究員
	奥野 健二	静岡大学 理学部附属放射化学研究施設 教授
	*掛布 光孝	(株) 豊田中央研究所 分析・計測部放射線応用研究室主任研究員
	*亀頭 直樹	豊橋技術科学大学 教授
	河野 隆文	核融合科学研究所 安全管理センター 助手
	倉橋 隆文	日本ガイシ (株) エンジニアリング事業部 開発部第 2 プラント開発 GM
	辻 義之	名古屋大学大学院工学研究科 助教授
	*中村 明博	北陸電力 (株) 原子力部 副部長
	西川 覚	中部電力 (株) 電力技術研究所原子力 T リーダー
	*藤井 富美子	名古屋女子大学 名誉教授
	*八木 伸也	名古屋大学大学院工学研究科 助教授
	山本 政儀	金沢大学理学部 附属低レベル放射能実験施設 助教授
	*渡邊 泰臣	中部電力 (株) 原子力管理部 業務 G 課長
監 査	岡部 博行	(財) 中部科学技術センター専務理事
	*山本 匡吾	帝国ピストンリング (株) 技術顧問

*印は平成 14 年度改選者

平成15年度

支部長	*山本 一良	名古屋大学大学院工学研究科教授
幹事	*鵜飼 裕之	名古屋工業大学工学部システムマネジメント工学科 助教授
	*大塚 温久	中部電力(株)原子力管理部業務グループ 主任
	大澤 英昭	核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター 副主任研究員
	*奥野 健二	静岡大学 理学部附属放射化学 研究施設 教授
	*親松 和浩	愛知淑徳大学 現代社会学部 現代社会学科 助教授
	亀頭 直樹	豊橋技術科学大学 教授
	*河野 孝央	核融合科学研究所 安全管理センター 助教授
	*倉橋 隆文	日本ガイシ(株)エンジニアリング事業部開発部 第2プラント開発 GM
	*柴田 理尋	名古屋大学アイソトープ総合センター 助教授
	中村 明博	北陸電力(株)原子力部 副部長
監査	*西川 覚	中部電力(株)電力技術研究所 原子力チームリーダー
	藤井 富美子	名古屋女子大学 名誉教授
	八木 伸也	名古屋大学大学院工学研究科 助教授
	*山根 義宏	名古屋大学大学院工学研究科 教授
	山本 政儀	金沢大学 理学部 附属低レベル放射能実験施設 助教授
	*岡部 博行	(財)中部科学技術センター専務理事
	山本 匡吾	帝国ピストンリング(株)技術顧問

*印は平成15年度改選者

平成16年度

支部長	*伊藤 隆彦	中部電力株式会社常務取締役発電本部長
幹事	鵜飼 裕之	国立大学法人名古屋工業大学 工学部システムマネジメント工学科 助教授
	大塚 温久	中部電力株式会社 発電本部 原子力部 業務グループ副長
	*岡田 英嗣	中部電力株式会社 技術開発本部電力技術研究所 原子力チームリーダー
	奥野 健二	国立大学法人静岡大学 理学部附属放射化学研究施設教授
	親松 和浩	愛知淑徳大学 現代社会学部 現代社会学科 助教授
	河野 孝央	核融合科学研究所 安全管理センター 助教授

	*楠 清明	北陸電力株式会社 原子力部 副部長
	倉橋 隆文	日本ガイシ株式会社 エンジニアリング事業本部 設計部長
	*茂田 直貴	核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター 瑞浪超深地層研究所研究情報化グループリーダー
	柴田 理尋	国立大学法人名古屋大学アイソトープ総合センター 助教授
	*藤井 富美子	名古屋女子大学名誉教授
	*三田地 紘史	国立大学法人豊橋技術科学大学 機械システム工学科 教授
	*山澤 弘実	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 助教授
	山根 義宏	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 教授
	*山本 政儀	国立大学法人金沢大学 理学部附属低レベル放射能実験施設 助教授
監 査	岡部 博行	(財) 中部科学技術センター専務理事
	*山本 匡吾	帝国ピストンリング株式会社技術顧問

*印は平成 16 年度改選者

平成 17 年度

支部長	*伊藤 隆彦	中部電力株式会社 代表取締役 副社長 発電本部長
幹 事	*飯田 孝夫	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 教授
	*鵜飼 裕之	国立大学法人名古屋工業大学 工学部システムマネジメント工学科 助教授
	*大塚 温久	中部電力株式会社 発電本部 原子力部 業務グループ副長
	*岡田 英嗣	中部電力株式会社 技術開発本部 電力技術研究所 原子力チームリーダー
	*奥野 健二	国立大学法人静岡大学 理学部附属放射化学研究施設 教授
	楠 清明	北陸電力株式会社 原子力部 副部長
	茂田 直貴	核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター 瑞浪超深地層研究所研究情報化グループリーダー
	*鳥井 淳史	日本ガイシ株式会社 開発部 プラント開発グループ サブマネージャー
	*長坂 琢也	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 核融合科学研究所 炉工学研究センター 助手
	*仁木 秀明	国立大学法人 福井大学大学院工学研究科 教授
	藤井 富美子	名古屋女子大学名誉教授
	三田地 紘史	国立大学法人豊橋技術科学大学 機械システム工学科 教授

	山澤 弘実	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科	助教授
	*山本 章夫	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科	助教授
	山本 政儀	国立大学法人金沢大学	
		理学部附属低レベル放射能実験施設	助教授
監 査	*近藤 靖彦	(財) 中部科学技術センター専務理事	
	山本 匡吾	帝国ピストンリング株式会社技術顧問	

*印は平成 17 年度改選者

平成 18 年度

支部長	*山根 義宏	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科	教授
幹 事	飯田 孝夫	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科	教授
	鵜飼 裕之	国立大学法人名古屋工業大学大学院工学研究科	教授
	岡田 英嗣	中部電力株式会社 技術開発本部	
		電力技術研究所 原子力チームリーダー	
	奥野 健二	国立大学法人静岡大学 理学部附属放射化学研究施設	教授
	*楠 清明	北陸電力株式会社 原子力部 副部長	
	*仙波 毅	独立行政法人 日本原子力研究開発機構	
		地層処分研究開発部門 東濃地科学研究ユニット	
		結晶質岩地質環境研究グループ サブリーダー	
	鳥井 淳史	日本ガイシ株式会社 製造技術本部	
		製造技術部 サブマネージャー	
	*中川 勝文	国立大学法人豊橋技術科学大学機械システム工学科	助教授
	長坂 琢也	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	
		核融合科学研究所 炉工学研究センター	助教授
	*中西 宣博	中部電力株式会社 発電本部 原子力部業務グループ	副長
	仁木 秀明	国立大学法人福井大学大学院工学研究科	教授
	山本 章夫	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科	助教授
	*山本 政儀	国立大学法人金沢大学	
		理学部附属低レベル放射能実験施設	助教授
	*柚原 淳司	国立大学法人名古屋大学 核燃料管理施設	助教授
監 査	近藤 靖彦	(財) 中部科学技術センター専務理事	
	*山本 匡吾	帝国ピストンリング株式会社技術顧問	

*印は平成 18 年度改選者

平成19年度

支部長	*山根 義宏	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 教授
幹事	*鵜飼 裕之	国立大学法人名古屋工業大学大学院工学研究科 教授
	*岡田 英嗣	中部電力株式会社 技術開発本部 電力技術研究所 原子力チームリーダー
	*奥野 健二	国立大学法人静岡大学 理学部附属放射化学研究施設 教授
	*奥野 正穂	日本ガイシ株式会社セラミックス事業本部 品質保証部 産プログループマネージャー
	楠 清明	北陸電力株式会社 原子力部 副部長
	山波 毅	独立行政法人日本原子力研究開発機構 地層処分研究開発部門 東濃地科学研究ユニット 結晶質岩地質環境研究グループ サブリーダー
	*曾田 一雄	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 教授
	*豊田 哲也	中部電力株式会社 発電本部 原子力部業務グループ 副長
	中川 勝文	国立大学法人豊橋技術科学大学 機械システム工学科 准教授
	*長坂 琢也	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 核融合科学研究所 炉工学研究センター 准教授
	*福元 謙一	国立大学法人福井大学大学院工学研究科 准教授
	山本 政儀	国立大学法人金沢大学 自然計測応用研究センター 教授
	柚原 淳司	国立大学法人名古屋大学核燃料管理施設 准教授
	*吉田 朋子	国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 准教授
監査	*近藤 靖彦	(財) 中部科学技術センター専務理事
	山本 匡吾	帝国ピストンリング株式会社技術顧問

*印は平成19年度改選者

平成20年度

支部長	*浅野 晴彦	中部電力株式会社 代表取締役副社長執行役員
幹事	*伊藤 高啓	国立大学法人豊橋技術科学大学機械システム工学科 助教
	鵜飼 裕之	国立大学法人名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
	岡田 英嗣	中部電力株式会社 技術開発本部

電力技術研究所 原子力チームリーダー

奥野 健二 国立大学法人静岡大学 理学部附属放射化学研究施設 教授

奥野 正穂 日本ガイシ株式会社セラミックス事業本部

品質保証部 産プログループ マネージャー

*河原林 順 国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 准教授

曾田 一雄 国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 教授

*田中 光雄 福井工業大学 原子力技術応用工学科 教授

*中司 昇 独立行政法人日本原子力研究開発機構

地層処分研究開発部門 研究主席

長坂 琢也 大学共同利用機関法人自然科学研究機構

核融合科学研究所 炉工学研究センター 准教授

*西野 彰純 北陸電力株式会社 原子力部 部長

*福岡 善房 中部電力株式会社 発電本部 原子力部 業務グループ 課長

福元 謙一 国立大学法人福井大学大学院工学研究科 准教授

吉田 朋子 国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 准教授

監 査 近藤 靖彦 (財)中部科学技術センター 専務理事

*鳥井 淳史 日本ガイシ株式会社 研究開発本部

次世代技術戦略室 サブマネージャー

*印は平成20年度改選者

歴代顧問名簿

平成10年以前より

貴田 勝造 元 日本ガイシ（株）専務取締役
豊田 章一郎 トヨタ自動車株式会社 取締役名誉会長
伏見 康治 名古屋大学 名誉教授
岸本 通智 元 清水共同発電（株）顧問
柴田 二三男 元 中部電力（株）常務取締役
知久 建夫 元 豊田中央研究所 顧問
玉河 元 名古屋大学 名誉教授
桐原 朝夫 名古屋大学 名誉教授
越野 朝夫 元 名古屋工業試験所第4部長
渡辺 鑑 名古屋大学 名誉教授
山崎 魏 元 中部電力（株）副社長
内藤 奎爾 名古屋大学 名誉教授
亀川 秀人 元 中部電力株式会社 常務取締役
加藤 敏郎 名古屋大学 名誉教授
蓮見 洸一 元 中部電力（株） 取締役副社長
金川 昭 名古屋大学 名誉教授
仁科 浩二郎 名古屋大学 名誉教授
森 千鶴夫 名古屋大学 名誉教授

平成11年度より

池辺 幸正 名古屋大学 名誉教授
松井 恒雄 名古屋大学 教授

平成13年度より

青木 輝行 元 中部電力株式会社 取締役副社長

平成16年度より

山本 一良 名古屋大学教授

平成18年度より

伊藤 隆彦 中部電力株式会社 顧問

平成20年度より

山根 義宏 名古屋大学教授

経 費

支部活動の諸経費は、学会本部からの交付金でまかなっている。以下に至近10年間の本部交付金を示す。

本部交付金の推移

平成11年度	570,000円
平成12年度	600,000円
平成13年度	650,000円
平成14年度	640,000円
平成15年度	640,000円
平成16年度	630,000円
平成17年度	610,000円
平成18年度	590,000円
平成19年度	595,000円
平成20年度	676,000円

原子力学会中部支部創立40周年記念式典プログラム

1. 日 時：平成21年5月12日（火） 15:10～17:30
2. 場 所：東桜会館 第2会議室
3. プログラム：
 - ・ 支部長挨拶 15:10～15:20
日本原子力学会中部支部長 浅野 晴彦氏
 - ・ 来賓祝辞 15:20～15:30
日本原子力学会副会長 電気事業連合会顧問 辻倉 米藏氏
 - ・ 中部支部功労者表彰： 15:30～15:50
名古屋大学名誉教授 加藤 敏郎氏（第9代中部支部長、元幹事）
元豊田中央研究所 川本 淳一氏（元幹事、元監査）
ご挨拶
 - ・ 講 演 「日本の基幹ロケットH-IIAのよもやま話」（仮題） 15:50～16:40
三菱重工業株式会社 名古屋航空宇宙システム製作所
技監・技師長 前村 孝志氏
 - ・ 講 演 「西鶴の追求したもの」 16:40～17:30
名古屋大学大学院 文学研究科 教授 塩村 耕氏
 - ・ 閉会挨拶 17:30
- 4 懇親会 17:30～19:30
東桜会館 5階 多目的ホールにて

以 上

編集後記

本誌は、日本原子力学会中部支部の創立40周年記念事業の一環として企画され、中部支部ホームページへ掲載するものである。

編集に際しては、創立30周年より現在に至るまでの各年度の事業報告書を記録としてまとめた。

これらの活動状況を俯瞰してみると、この10年様々な問題に取り組んできた結果、今や原子力リネッサンスの到来といわれるほど、世界的に原子力回帰の潮流を迎えており、次の10年間の飛躍が大いに期待されるまでとなっている。本誌が、明日の原子力を考える上での、一つの参考ともなれば、編集に携わったものとしてまことに幸いである。

(福岡記)